I-O DATA

ポータブル
デジタルオーディオプレーヤー

MDM-H205

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

95306-03

このたびは、ポータブルデジタルオーディオプレーヤー「HyperHyde Exrouge」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

スムーズに作業を進めるために

以下のフローに沿って、必要な個所をお読みください。

本製品の動作環境や名称などを説明しています。必ずお読みください。
・・・・・・・・【1　ご使用になる前に】

↓

本製品のカードにお好きな音楽を録音する方法を説明します。
お使いのパソコンによって必要な個所を、必ずお読みください。
Windows の場合・・・・・・・・【2　音楽を録音しよう（Windows 編）】
Macintosh の場合・・・・・・・・【3　音楽を録音しよう（Macintosh 編）】

↓

録音した音楽を楽しむ方法を説明しています。本製品の基本的な使い方になりますので、必ずお読みください。
・・・・・・・・【4　音楽を聴こう）】

↓

カスタマイズ機能を使って、本製品の液晶表示やボタン操作をお好みのものに変更する方法を説明します。また、添付ソフトの機能説明もあります。必要に応じてお読みください。
・・・・・・・・【5　Exrouge　上級編】

本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System および Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows XP/2000	Windows XP、Windows 2000 の総称
Windows Me/98	Windows Me、Windows 98 の総称
Windows	上記の Windows すべての総称

目次

本書での呼び方 ····· i
安全にお使いいただくために ····· iv

1 ご使用になる前に

箱の中身は ····· 1
本製品でできること ····· 3
各部の名称 ····· 5
動作環境 ····· 7
電池とカードを入れる ····· 8

2 音楽を録音しよう（Windows 編）

サポートソフトをインストールする ····· 9
音楽を録音する ····· 22
本製品を取り外すには ····· 39
インストールした情報を削除するには ····· 40

3 音楽を録音しよう（Macintosh 編）

サポートソフトをインストールする ····· 45
音楽を録音する ····· 49
インストールした情報を削除するには ····· 54

4 音楽を聴こう

音楽を再生する ····· 55
いろいろな設定を行う ····· 59

5 Exrouge 上級編

カスタマイズしよう ····· 65
HyperHyde CD Ripper の機能 ····· 76
HyperHyde Manager の機能 ····· 80

6 故障かなと思う前に

トラブル Q&A＜目次＞ ····· 87
トラブル Q&A ····· 89

7 付　録

ハードウェア仕様 ····· 97
用語解説 ····· 99
アフターサービス ····· 102

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

使用中止

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

万一異常が発生した場合は使用を中止してください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因となります。

分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因となります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となります。

厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

禁止

運転中や歩行中は使用しないでください。

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作を行うことは絶対にお止めください。また、歩行中でも、踏切や交差点などでは回りの音が聞こえず、交通事故の原因となります。

禁止

大音量で長時間聞かないでください。

ヘッドホン着用時に、耳を刺激するような大音量で長時間聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
また、音量を急激に上げると耳を痛める原因となりますので、音量はゆっくり上げるようにしてください。

⚠注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力・電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所
  （保管は問題ありません）
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所（保管は問題ありません）

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

第三者に便宜を図る目的で音楽データを作成することは法律で禁止されています。

著作権者に無断で、販売や配布など第三者に便宜を図る目的で、音楽データを作成することは違法です。

また、個人で楽しむ場合のほかは、音声ファイル・音楽ファイル・オーディオCDなどの複製・配布（無料/有料を問わず）・インターネットへの掲載は、著作権法や国際条約上、固く禁じられています。

厳守

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

⚠ 警告（電池について）

禁止

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらないでください。

電池の液が目に入ったり、体や衣服につくと失明やけが、皮膚の炎症の原因となります。

液が目に入ったとき ➡ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服についたとき ➡ すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

厳守

電池は乳幼児の手の届かない場所に置いてください。

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。

万一、飲み込んだとき ➡ ただちに医師に相談してください。

禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさないでください。

液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

⚠ 注意（電池について）

禁止

下記以外の電池を使わないでください。

使用電池：単 4 アルカリ乾電池

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

注意

指定した電池を正しい方向（プラス・マイナス）で入れてください。

指定以外の電池は使用しないでください。また、プラスとマイナスは正しく入れてください。間違えると、電池の液漏れや破裂などにより、火災やケガ、機器破損の原因となります。

厳守

電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは取り出してください。

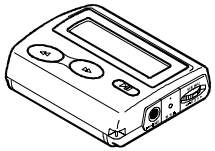
電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れけがややけどの原因となります。万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池をいれてください。

1 ご使用になる前に

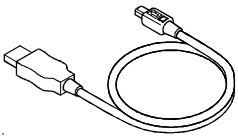
箱の中身は

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

☐ 本製品（1台）



☐ 専用USBケーブル（1本、50cm）



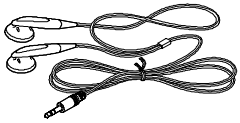
☐ サポートソフト CD-ROM（1枚）

☐ マルチメディアカード（1枚）

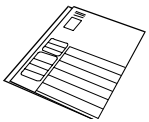
添付のマルチメディアカードはお買い上げいただいた製品により容量が異なります。
※MDM-H205：32MB、MDM-H205R：64MB
MDM-H205W：128MB、MDM-H205SR：64MB
MDM-H205SW：128MB

☑ 取扱説明書（1冊）

☐ インナーステレオイヤホン（1本）



☐ ユーザー登録カード（1枚）



ハードウェアシリアル No.（S/N ではじまる番号）は本体の電池カバーを開けた中に透明シールで貼り付けてあります。

☐ ハードウェア保証書（1枚）

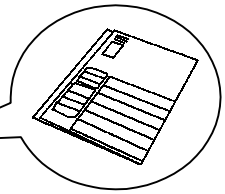
☐ 単4アルカリ乾電池（1個）

※添付の電池は動作確認用です。
なるべく早く交換してください。

注意！

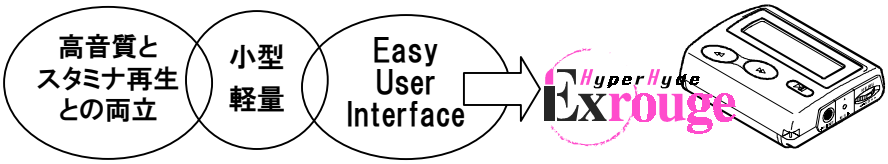
1. **箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご利用ください。**
2. **本製品接続時には、付属の専用 USB ケーブルをお使いください。**
3. **本製品添付のマルチメディアカードは本製品専用です。**

ユーザー登録はお済みですか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次ページへ進みましょう。



本製品でできること

アイ・オーだからできる高性能の数々



■世界に誇る、高音質・長時間再生

- 最新型デコーダチップ搭載で高音質を実現。
- 単４アルカリ乾電池１本で、連続再生 20 時間（省電力設定時。使用状況により異なります。）を実現する、アイ・オーならではの超省エネ設計。
- M.M.T（Masao Magic Technology）を採用し、ハードウェアとファームウェアの両面で可能なかぎりのチューニングを行い、長時間再生と高音質とのバランスを重視しました。

■世界最小クラスの超小型・超軽量

- ミニ DV テープより小さく、重さ約 34ｇの超軽量ボディ。
- ポケットの中に入れたままブラインド操作ができる、シンプルなボタン配置。

■使いやすいユーザーインターフェイス

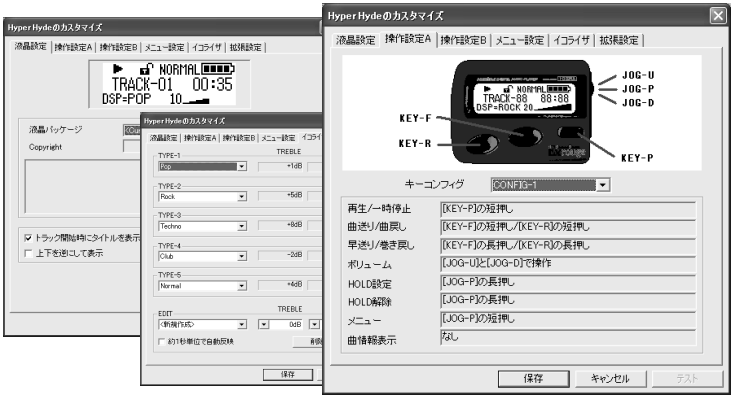
- 日本語表示可能な、バックライト付き液晶ディスプレイ搭載。曲タイトルやアーティストを日本語で表示できます。
- マルチメディアカード標準添付。お気に入りの音楽 CD があれば、すぐに録音を開始できます。
  SD メモリーカードへも録音できます。
- USB 採用で簡単データ転送。音楽データ録音中はパソコンから電源が供給されるため、本製品の電池を消耗しません。
  ※電池を充電することはできません。

■世界初！　Custom Setting System 搭載

- パソコンを使っての強力な Custom Setting System（カスタム・セッティング・システム＝C.S.S）との融合により、使い勝手を大幅アップ。
- 世界でたった１つ。あなただけの MP3 プレーヤーを実現。

液晶表示やボタン操作を自分好みにカスタマイズ
高度な Custom Setting System を搭載した
「HyperHyde Manager for Exrouge」標準添付

- 本製品専用ソフトウェア「HyperHyde Manager for Exrouge」は、MP3 データを本製品に転送する基本機能のほか、本製品の操作ボタンや液晶表示、音質までを自分好みに変更できる、世界初のカスタマイズ機能を搭載。
  世界でたった１つの、自分だけの MP3 プレーヤーを実現します。
- パソコン側から Exrouge の音質や再生モードなどの設定ができるので、面倒な設定もラクラク操作できます。



音楽 CD から簡単に MP3 データを作って録音
リッピング機能を搭載した本製品専用ソフト
「HyperHyde CD Ripper for Exrouge」を標準添付
（Windows 版のみ）

- 本製品専用の MP3 作成ソフトだから、操作は簡単。音楽 CD から MP3 データを作成した後、そのままダイレクトに本製品に転送できるスグレモノ。
  「HyperHyde Manager for Exrouge」との相性もバツグンです。

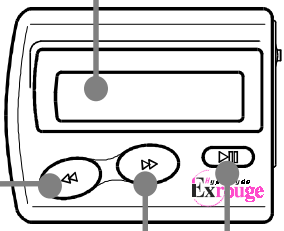
■128MB マルチメディアカードの録音時間の目安

エンコード設定	ビットレート	録音可能時間（目安）
標準	128Kbps	約 120 分
音質優先	160Kbps	約 104 分
サイズ優先	96Kbps	約 176 分

各部の名称

■液晶ディスプレイ

再生中のトラック番号や各種設定が表示されます。
カスタマイズで好きな表示デザインを選べます。



■ [◀◀]ボタン

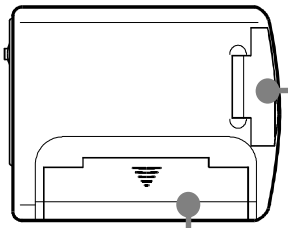
前の曲を再生したり、再生曲の早戻しをします。
長押しで電源を入れます。
カスタマイズで動作を変更できます。

■[▶||]ボタン

一時停止とその解除を行います。
また、長押しで電源の入／切をします。
カスタマイズで動作を変更できます

■ [▶▶]ボタン

次の曲を再生したり、再生曲の早送りをします。
長押しで電源を入れます。
カスタマイズで動作を変更できます。

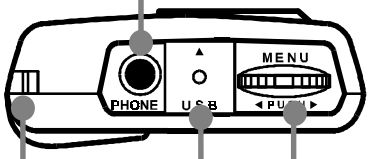


■カードスロット

カバーを開けて、マルチメディアカードまたは SD メモリーカードを入れます。
（対応メディアは 97 ページ
「ハードウェア仕様」参照）

■電池カバー

カバーを外して、単４アルカリ電池を入れます。
（8 ページ「電池とカードを入れる」参照）



■イヤホンジャック

ステレオイヤホンを差します。

■ ストラップホール

市販のストラップなどを
つけることができます。

■ USB ポート

ゴムカバーをめくり、付属の専用 USB ケーブルを差し込み、パソコンと接続します。

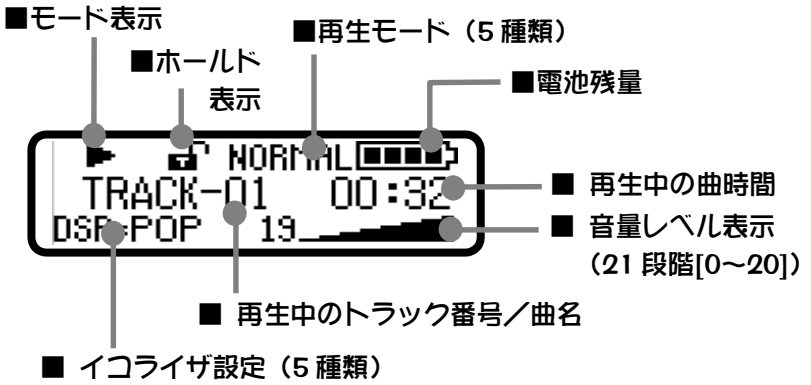
注）ゴムカバーは脱着可能です。装着しない場合は紛失しないようにご注意ください。

■ジョグスイッチ

音量の変更、ホールドとその解除、メニュー設定を行います。
長押しで電源を入れます。
カスタマイズで動作を変更できます。

■液晶ディスプレイ■

液晶ディスプレイの表示デザインはカスタマイズによって変更できますが、ここでは工場出荷時のデザインで説明します。



注）USB ケーブルの抜き差し時に、液晶ディスプレイに残像が発生する場合があります。

動作環境

■Windows 搭載パソコン■

対応機種	USB ポート(USB 1.1 準拠)を搭載した NEC PC98-NX シリーズおよび DOS/V マシン
CPU	MMX Pentium 200MHz 以上
メモリ	32MB 以上(64MB 以上を推奨)
ハードディスク	30MB 以上の空き容量があること (音楽データの保存領域を除く)
対応 OS (日本語版)	Windows XP、Windows 2000 Windows Me、Windows 98(Second Edition 含む)
CD-ROM	16 倍以上でデジタル抽出可能であること
USB ポート	本製品接続時に 1 つ必要

■Mac OS 搭載パソコン■

対応機種	Apple iMac、iBook PowerMacintosh G3、G4、G4 Cube PowerBook G3、G4
対応 OS(日本語版)	Mac OS 9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2
メインメモリ	32MB 以上(64MB 以上を推奨)
ハードディスク	30MB 以上の空き容量があること (音楽データの保存領域を除く)
CD-ROM	16 倍速以上で、デジタル抽出可能であること
USB ポート	本製品接続時に 1 つ必要

注意！ **Windows、Mac OS 共通**

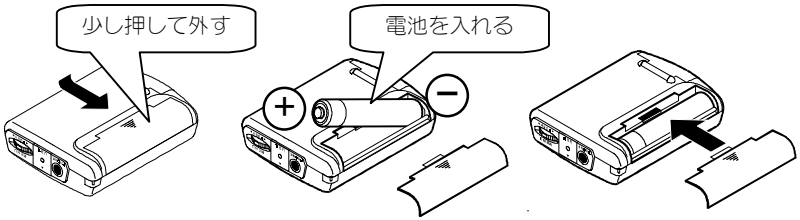
1. **本製品はスタンバイ、サスペンド、スリープ機能には対応していません。本製品使用中にはそれらの機能は使用しないでください。**
2. **ご利用の環境によっては、USB ハブに接続すると正常に動作しない場合があります。その場合はパソコン本体の USB ポートに直接接続してください。**
3. **以下の音楽 CD から MP3 データを作成することは動作保証外です。**
   - **CD-R または CD-RW で作成した音楽 CD**
   - **CD Extra・ミックス CD のような CD-DA フォーマット以外の音楽 CD**
4. **添付のアプリケーション「HyperHyde CD Ripper for Exrouge」は、IDE および SCSI 接続のドライブのみ対応しております。(Mac OS には対応しておりません。)**

電池とカードを入れる

本製品付属の単 4 アルカリ乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池とお取り替えください。

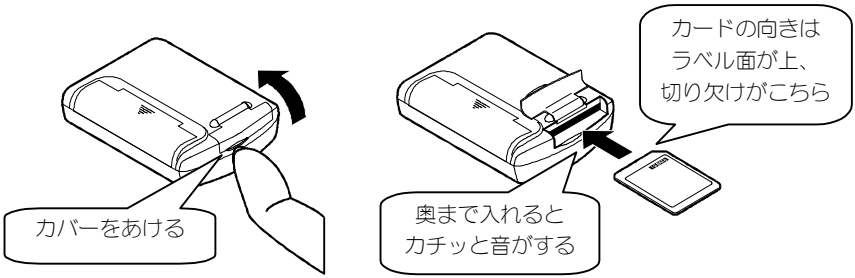
1 単4アルカリ乾電池を本製品に入れます。

裏面の電池カバーを外し、乾電池の向きに注意して入れてください。



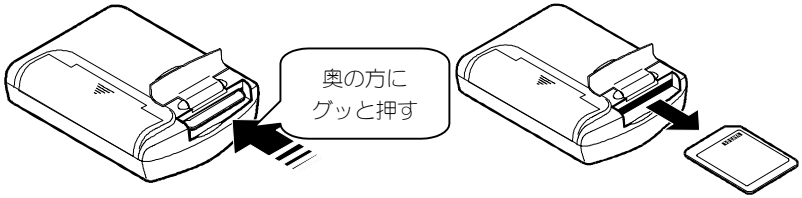
2 カードを本製品に入れます。

カードの向きに注意して、カチッと音がするまで入れてください。



カードを取り出すには

メモリカードを取り出す時は、一旦カードを奥まで押し込んでから、飛び出したカードを指でつまんで取り出してください。



※無理に取り出そうとすると、カードスロットが破損する恐れがありますので、ご注意ください。（誤った取り扱いによる破損は、有料修理となります。）

2 音楽を録音しよう（Windows 編）

ここでは、本製品添付のサポートソフトを使って、本製品にお好きな音楽を録音する方法を説明します。
Macintosh をお使いの場合は、45 ページ「音楽を録音しよう（Macintosh 編）」へお進みください。

サポートソフトをインストールする

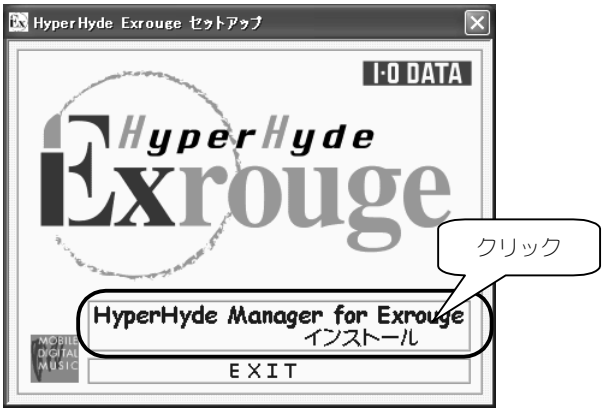
ここではまだ本製品をパソコンに接続しないでください。

1 Windows を起動※し、「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

※Windows XP の場合はコンピュータの管理者でログオン、Windows 2000 の場合は Administrator の権限でログオンしてください。

2 しばらくして下記の画面が表示されたら、[HyperHyde Manager for Exrouge インストール]をクリックします。

下記の画面が表示されない場合は、サポートソフト CD-ROM 内にある [Setup.exe]を起動してください。



3 画面の指示にしたがって、処理を進めてください。特に必要のない限り、そのまま[次へ]ボタンを選んでください。

インストール中は次のポイントに注意してください。

- インストール先の選択画面

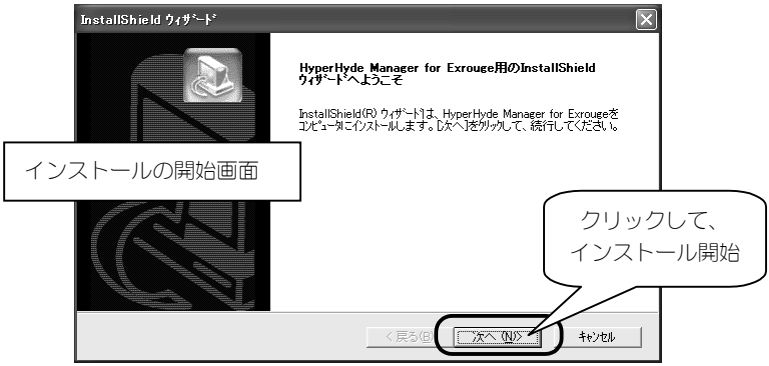
  Windows XP/2000 をお使いの場合でインストール先を変更したときは、フォルダ名をメモしておいてください。後で必要になります。

- セットアップタイプ画面

  [標準]：通常はこれを選んでください。

  [コンパクト]：必要最小限のソフトウェア（HyperHyde Manager とドライバのみ）をインストールします。

  [カスタム]：インストールするソフトウェアを選択できます。



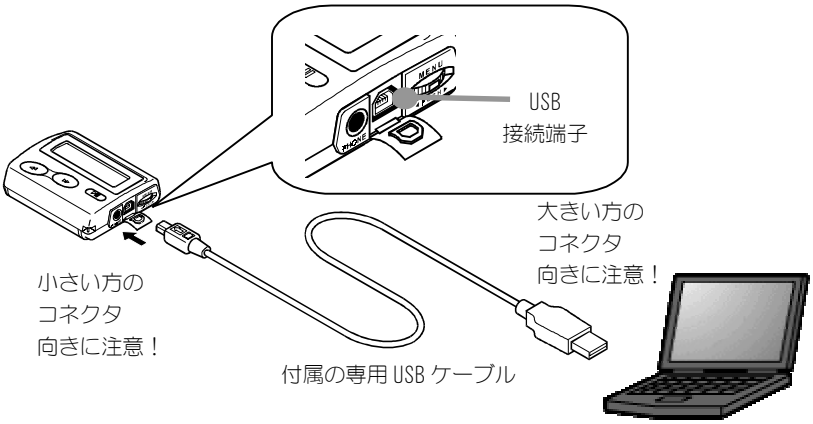
4 下記の画面が表示されたら、[はい、今すぐ･･･]を選択して、[完了]ボタンをクリックします。

パソコンが再起動したら、次のページにお進みください。

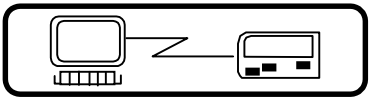
5 パソコンが再起動したら、本製品をパソコンに接続します。

本製品側面のゴムカバーを開け、付属の専用 USB ケーブルの小さい方のコネクタを USB 接続端子に接続します。専用 USB ケーブルの大きい方はパソコンの USB コネクタに差し込みます。

USB コネクタには向きがありますので、入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



6 本製品の液晶ディスプレイに接続中の図が表示されますので確認します。



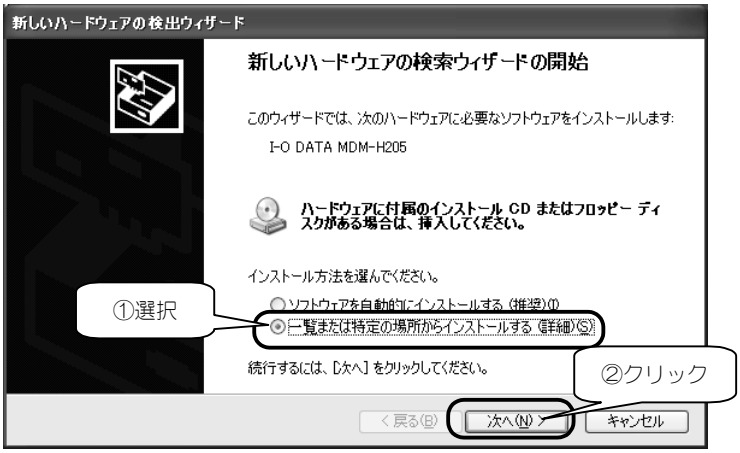
この後、お使いの Windows によって操作が異なります。

- **Windows XP をお使いの場合**
  次ページの手順に従って、インストールを続けてください。
- **Windows 2000 をお使いの場合**
  15 ページの手順に従って、インストールを続けてください。
- **Windows Me/98 をお使いの場合**
  自動的に新しいハードウェアとしてインストールされますので、そのままお待ちください。画面が消えたら、インストール終了です。21 ページ「インストール後の確認（Windows Me/98）」へ進んでください。

「新しいハードウェアの追加」画面が表示されたまま消えない場合は… → 「トラブルQ＆A」92 ページをご参照ください。

Windows XP の場合

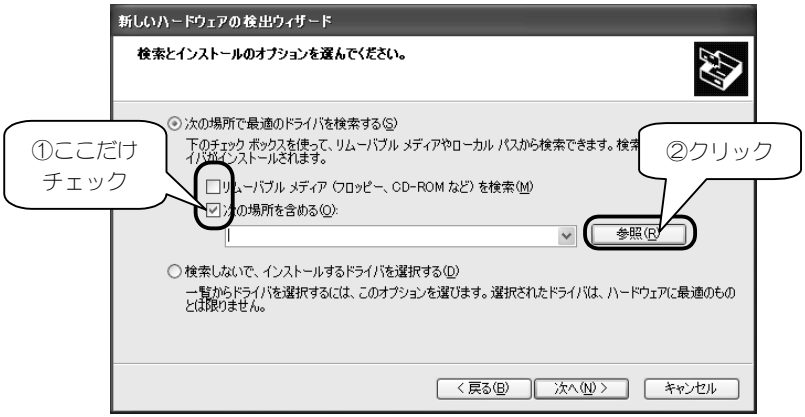
1 しばらくして以下の画面が表示されたら、[一覧または特定の･･･]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



この画面が表示されない場合は…

「トラブルQ&A」92 ページをご参照ください。

2 [次の場所を含める]だけをチェックし、[参照]ボタンをクリックします。

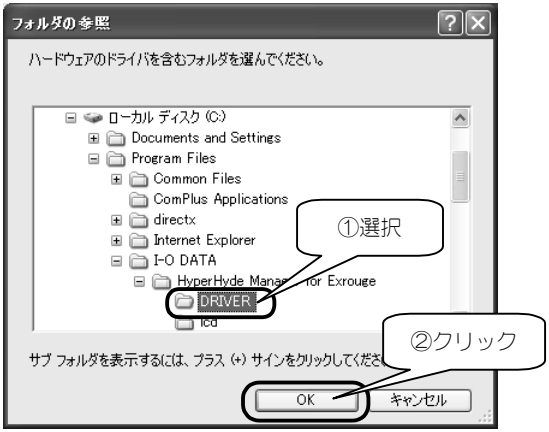


3

Windows がインストールされているドライブ(標準は C:)にある下記のフォルダを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

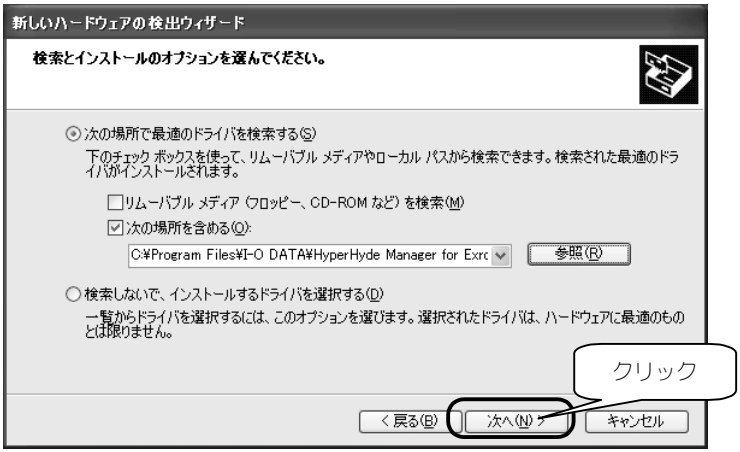
Program Files¥I-O DATA¥HyperHyde Manager・・・¥DRIVER

「HyperHyde Manager for Exrouge」のインストールで、インストール先フォルダを変更した場合 (10 ページ手順 **3** 参照) は、変更したフォルダを選択してください。

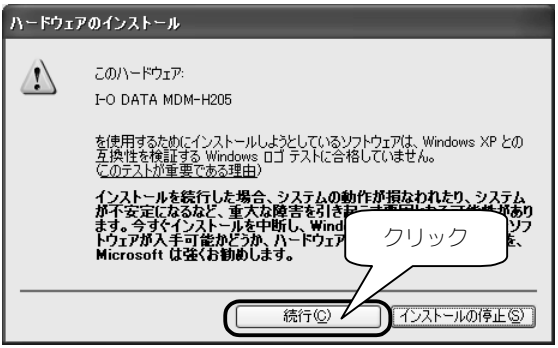


4

[次へ]ボタンをクリックします。



5 [続行]ボタンをクリックします。



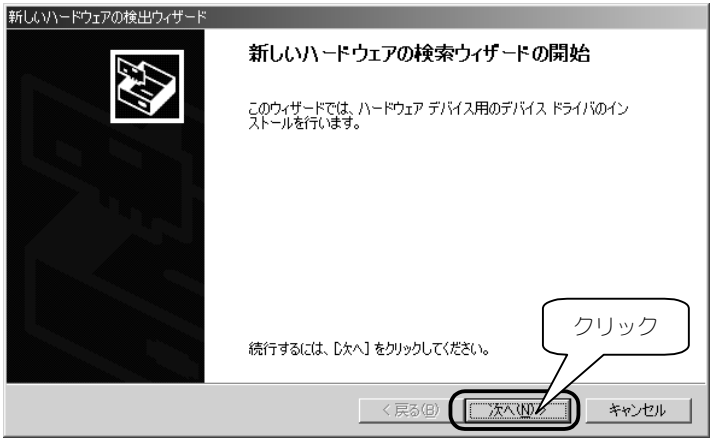
弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアではないというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は、WHQLという組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

6 [完了]ボタンをクリックします。

これで、サポートソフトのインストールは終了です。
次に、正常にインストールされたかどうかの確認を行います。
19 ページ「インストール後の確認（Windows XP/2000)」にお進みください。

Windows 2000 の場合

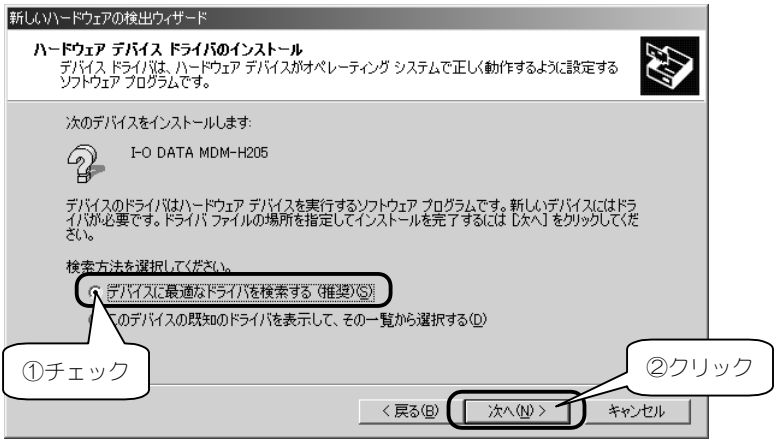
1 しばらくして下記の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。



この画面が表示されない場合は…

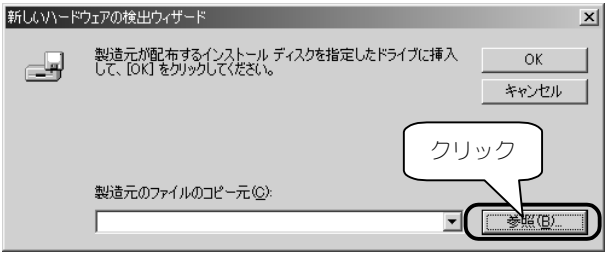
「トラブルQ&A」92 ページをご参照ください。

2 [デバイスに最適な・・・]をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



3 [場所を指定]のみをチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。

4 [参照]ボタンをクリックします。

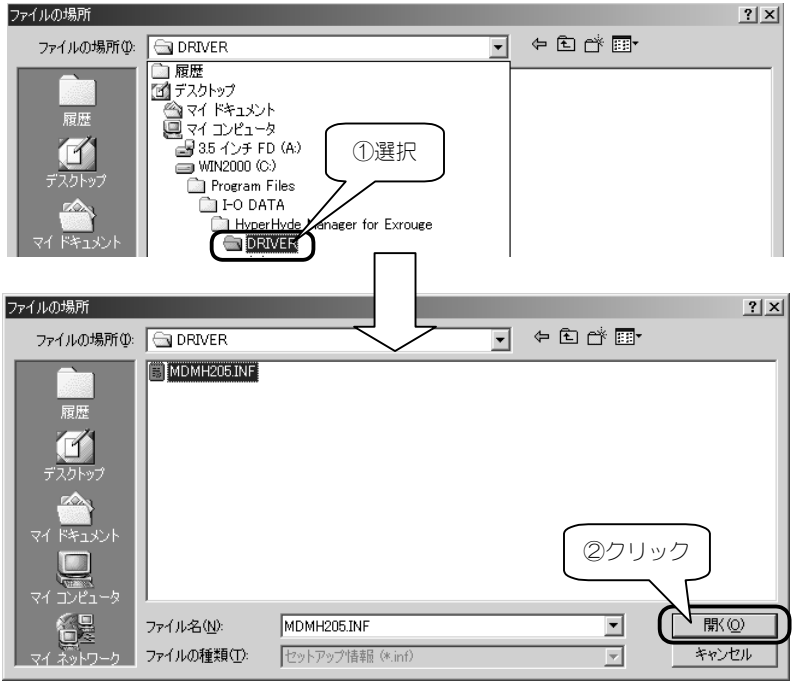


5

Windows がインストールされているドライブ(標準は C:)にある下記のフォルダを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

Program Files¥I-O DATA¥HyperHyde Manager・・・¥DRIVER

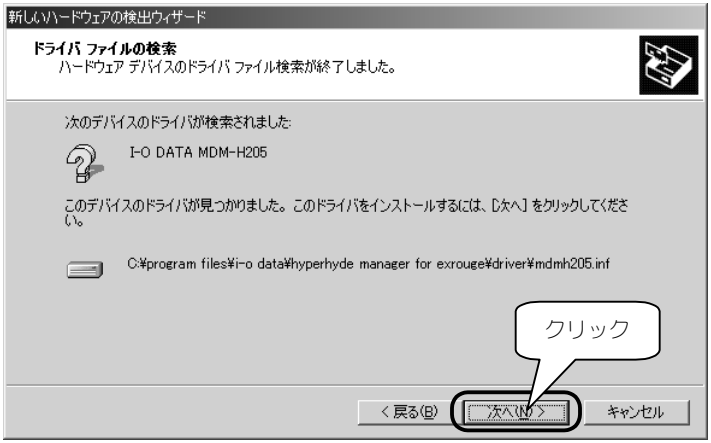
「HyperHyde Manager for Exrouge」のインストールで、インストール先フォルダを変更した場合 (10 ページ手順 **3** 参照) は、変更したフォルダを選択してください。



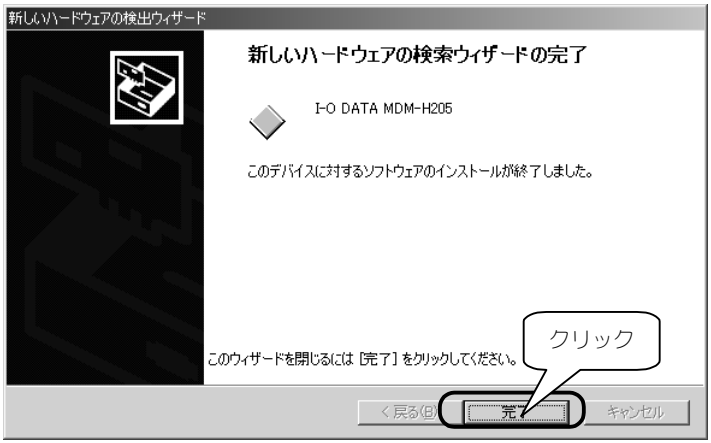
6

[OK]ボタンをクリックします。

7 しばらくして下記の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。



8 下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



これで、サポートソフトのインストールは終了です。
次は、正しくインストールされたかどうかを確認してみましょう。
次ページへお進みください。

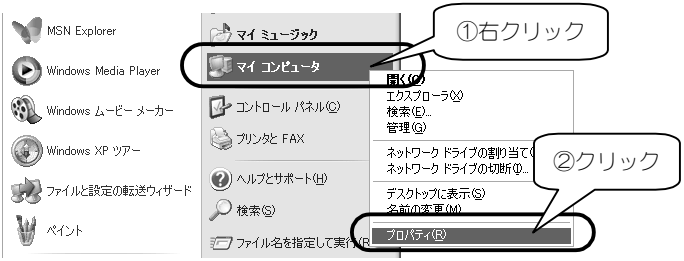
インストール後の確認（Windows XP/2000）

Windows Me/98 をお使いの場合は、21 ページ「インストール後の確認（Windows Me/98）」へお進みください。
本書の画面例は Windows XP のものですが、特に明記のない限り、Windows 2000 でも操作は同じです。

1

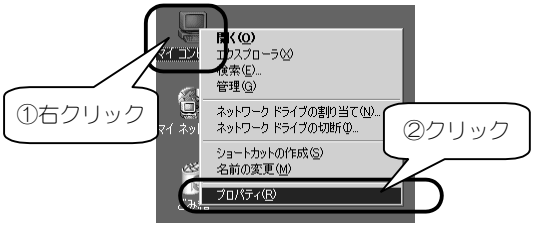
Windows XP の場合

[スタート]→[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

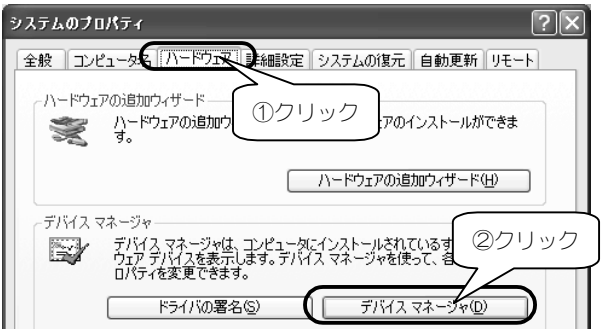


Windows 2000 の場合

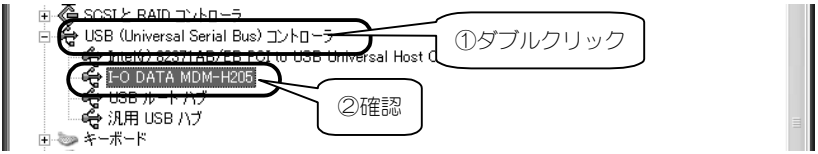
[マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



2 [ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

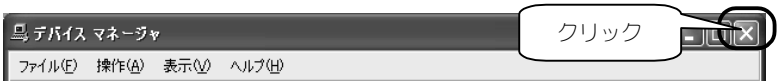


3 [USB(Universal Serial Bus) コントローラ]をダブルクリックして、[I-O DATA MDM-H205]が表示されていることを確認します。



「I-O DATA MDM-H205」が表示されない場合は… → 「トラブルQ&A」92 ページをご参照ください。

4 画面右上の[×]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

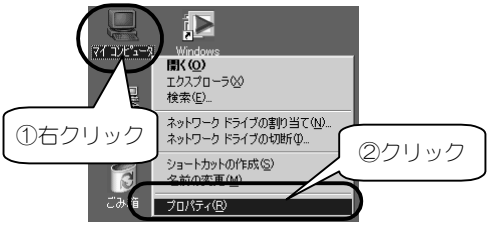


確認できたら、22 ページ「音楽を録音する」へ進んでください。

インストール後の確認（Windows Me/98）

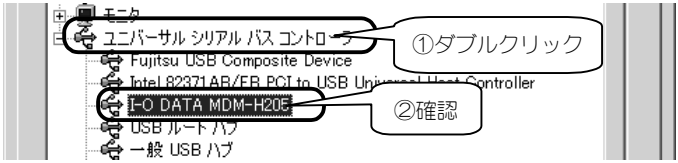
Windows XP/2000 をお使いの場合は、19 ページ「インストール後の確認（Windows XP/2000）」を参照してください。

1 [マイコンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]をクリックします。



2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]をクリックします。

3 [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]をダブルクリックして、[I-O DATA MDM-H205]が表示されていることを確認します。



「I-O DATA MDM-H205」が表示されない場合は…

「トラブルQ＆A」92 ページをご参照ください。

4 [OK]ボタンをクリックして、[システムのプロパティ]画面を閉じます。

確認できたら、次ページ「音楽を録音する」へ進んでください。

音楽を録音する

インストールしたサポートソフトを使って、本製品に音楽を録音してみましょう。
お好きな音楽を録音するためには２つの方法があります。
本書ではそれぞれのケースについて、操作方法を説明しています。必要に応じたページを参照してください。

- 音楽 CD から MP3 形式の音楽データを作成して本製品に録音する
  →下記参照
- ハードディスクに保存してある MP3 形式の音楽データを本製品に録音する
  →30 ページ参照

音楽 CD から録音する

本製品添付の「HyperHyde CD Ripper for Exrouge」を使います。

※Windows XP/2000 で「HyperHyde CD Ripper for Exrouge」を使う場合は、Windows XP の場合はコンピュータの管理者で、Windows 2000 の場合は Administrator の権限でログオンしてください。

※IDE および SCSI 接続のドライブのみ対応しております。

本書の画面例は Windows XP のものですが、特に明記のない限り、他の Windows でも操作は同じです。

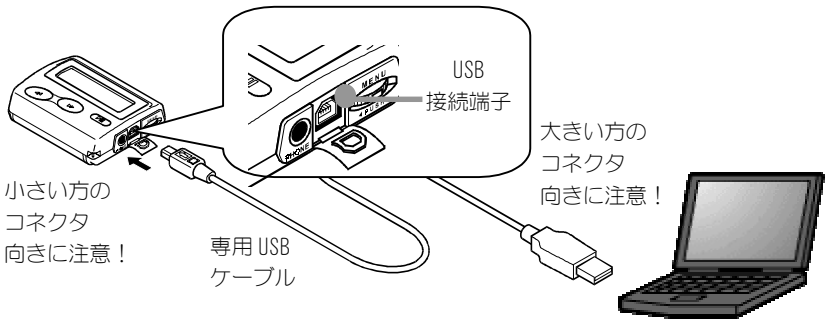
チェック

以下の準備ができていることを確認してください。

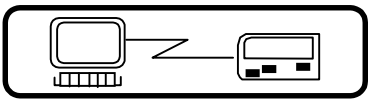
- 本製品に空き容量のあるカードがセットしてあること

1 本製品をパソコンに接続します。

本製品側面のゴムカバーを開け、専用 USB ケーブルの小さい方のコネクタを USB 接続端子に接続します。専用 USB ケーブルの大きい方はパソコンの USB コネクタに差し込みます。
USB コネクタには向きがありますので、入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



2 本製品の液晶ディスプレイに接続中の図が表示されますので確認します。



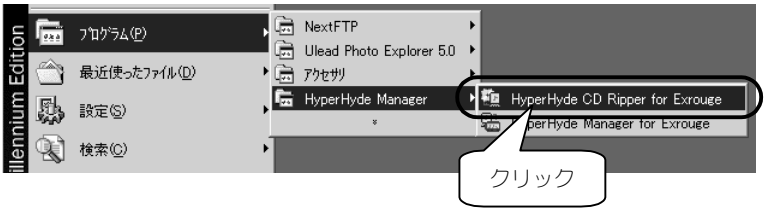
3 [HyperHyde CD Ripper for Exrouge]を起動します。

●Windows XP の場合

[スタート]→[すべてのプログラム]→[HyperHyde Manager]→[HyperHyde CD Ripper for Exrouge]をクリックします。

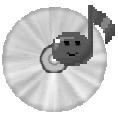
●その他の Windows の場合

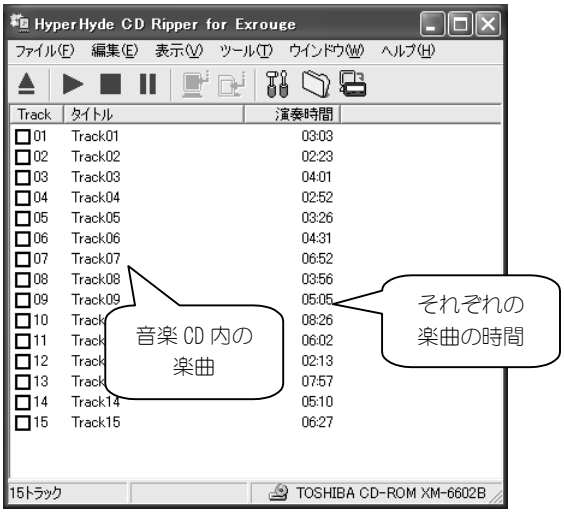
[スタート]→[プログラム]→[HyperHyde Manager]→[HyperHyde CD Ripper for Exrouge]をクリックします。



4 HyperHyde CD Ripper が起動したら、録音したい曲が入っている音楽 CD を CD-ROM ドライブにセットします。

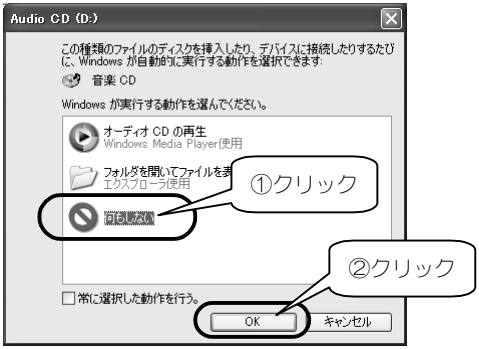
音楽 CD 内の楽曲が表示されます。





注意！

1. **Windows Media Player など、音楽 CD 再生ソフトが起動したときは、そのソフトを終了してください。**
2. **Windows XP をお使いの場合で、以下のように表示された場合は、[何もしない]を選択し、[OK]をクリックしてください。**

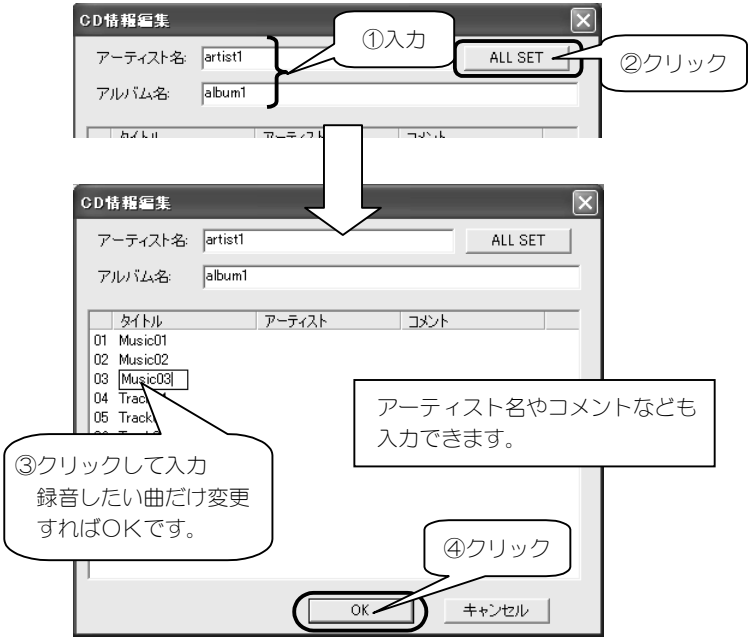


3. **音楽 CD をセットしても楽曲が表示されない場合は、[表示]メニューの[最新の情報に更新]を選んでください。**

5 曲名やアルバム名を設定する場合は、[ツール]－[CD 情報編集]を選びます。

曲名を設定しておくと本製品で音楽を再生したときに表示されるので便利です。必要がない場合は、次ページ手順 **7** へ進んでください。

6 アーティスト名、アルバム名を入力し、[ALL SET]ボタンをクリックします。その後、曲名などを入力し、[OK]ボタンをクリックします。



7 本製品に録音したい曲をチェックします。

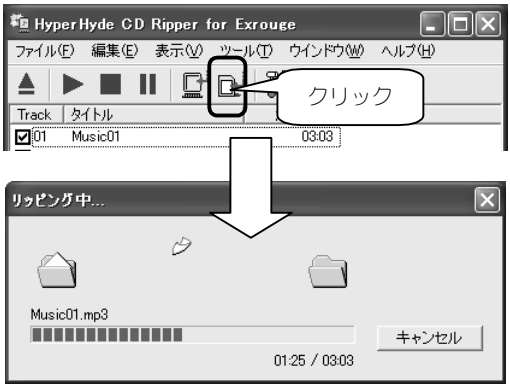
参考

マルチメディアカード(128MB)の録音可能時間の目安は以下の通りです。
エンコード設定を変更したい場合は、アイコンをクリックします。
(詳細は 78 ページ「アプリケーションの設定ダイアログ」を参照)

エンコード設定	ビットレート	録音可能時間
標準（初期値）	128Kbps	約 120 分
音質優先	160Kbps	約 104 分
サイズ優先	96Kbps	約 176 分

8 (メディアに保存)をクリックします。

音楽 CD から MP3 データを作成後、本製品に転送（録音）します。
MP3 データの作成のみを行いたい場合は (HDD に保存) をクリックしてください（本製品には転送しません）。



注意！

お使いのパソコンや楽曲の長さによって処理に時間がかかる場合があります。この間はパソコンから本製品を取り外したり、本製品の専用 USB ケーブルを抜かないでください。

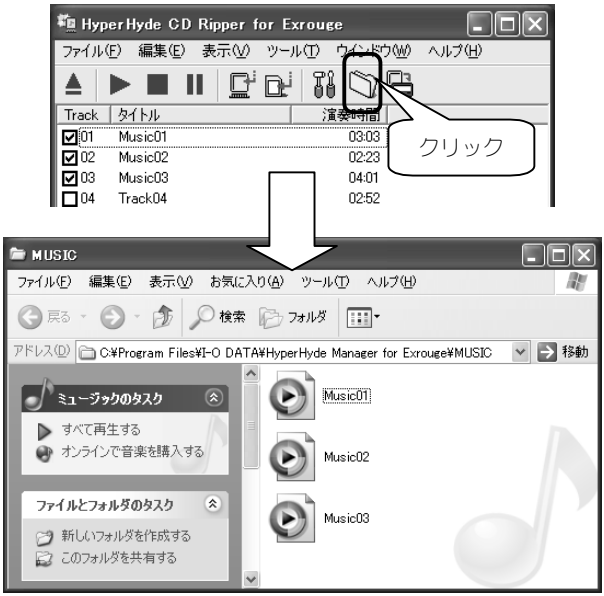
「リッピング中」画面が消えたら、本製品への転送（録音）は終わりです。
転送した MP3 データはハードディスクにも保存されていますので、次回からはそのデータを転送するだけで録音できます。
ハードディスクに保存されている MP3 データと、本製品に録音された MP3 データを確認してみましょう。

参考

リッピングとは？
音楽 CD（CD-DA）に記録されているデジタル形式の音声データを抽出し、パソコンで処理できるようなファイル形式（本製品では MP3 形式）に変換して保存することです。
※著作権保護されている音楽 CD をリッピングすることはできません。

■ハードディスクに保存されている MP3 データの確認■

アイコンをクリックすると表示されます。



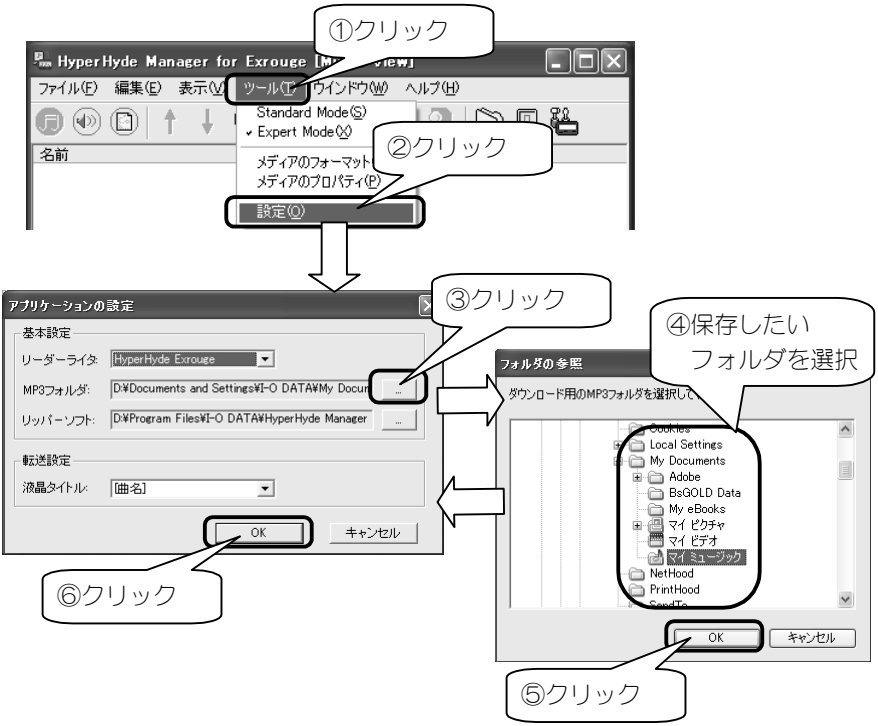
▲ Windows XP の場合の画面例

このフォルダは、標準では HyperHyde Manager がインストールされたフォルダの下ですが、お好きなフォルダに変更することができます。次ページ「MP3 作成用のフォルダを変更する」を参照してください。

■MP3 作成用のフォルダを変更する■

MP3 データを保存するフォルダをお好きなフォルダに変更することができます。

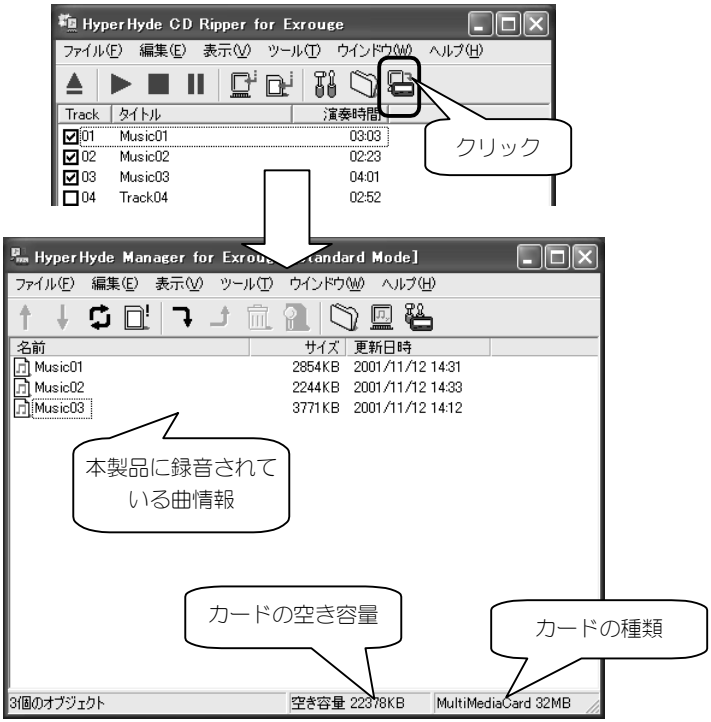
[ツール]タブ→[設定]→[...]ボタン→保存したいフォルダを選択→[OK]ボタン→[OK]ボタンを順にクリックします。



■録音した MP3 データの確認■

アイコンをクリックすると、転送アプリケーション（HyperHyde Manager）が起動し、本製品のカードに録音されたデータを確認できます。

ただし、（HDD に保存）をクリックしたときは、MP3 データはハードディスクに保存されているため、ここでは確認できません。



39 ページ「本製品を取り外すには」を参照して、本製品をパソコンから取り外してから、55 ページ「音楽を聴こう」へ進んでください。

曲順を変えたり、曲を削除する場合は、すべて HyperHyde Manager を使います。
33 ページ「HyperHyde Manager の便利な使い方」も合わせてご覧ください。

ハードディスクに保存してある MP3 形式の音楽データを本製品に録音する

ハードディスクに MP3 データが保存されているときは、本製品添付の「HyperHyde Manager for Exrouge」を使います。ここではその方法を説明します。
本書の画面例は Windows XP のものですが、特に明記のない限り、他の Windows でも操作は同じです。

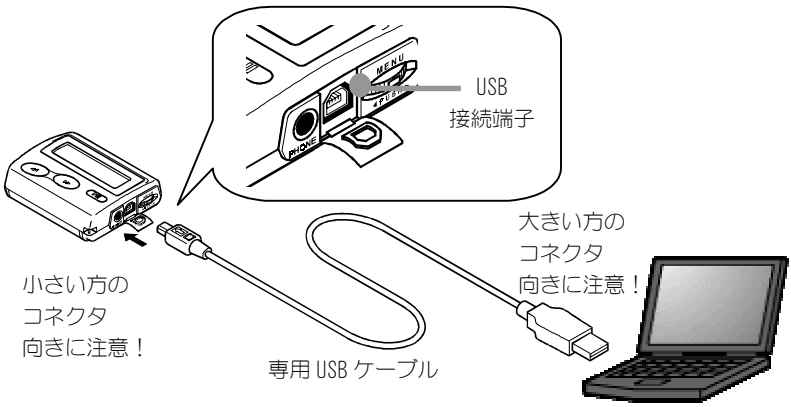
チェック

以下の準備ができていることを確認してください。

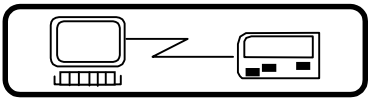
- ハードディスクに MP3 データがあること
- 本製品に空き容量のあるカードがセットしてあること

1 本製品をパソコンに接続します。

本製品側面のゴムカバーを開け、専用 USB ケーブルの小さい方のコネクタを USB 接続端子に接続します。専用 USB ケーブルの大きい方はパソコンの USB コネクタに差し込みます。
USB コネクタには向きがありますので、入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



2 本製品の液晶ディスプレイに接続中の画面が表示されますので確認します。

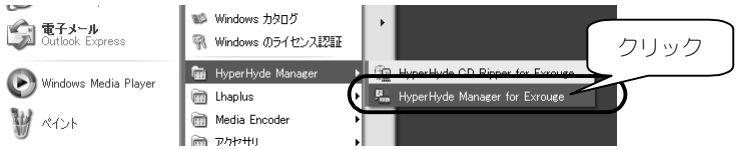


3

[HyperHyde Manager for Exrouge]を起動します。

●Windows XP の場合

[スタート]→[すべてのプログラム]→[HyperHyde Manager]→[HyperHyde Manager for Exrouge]をクリックします。



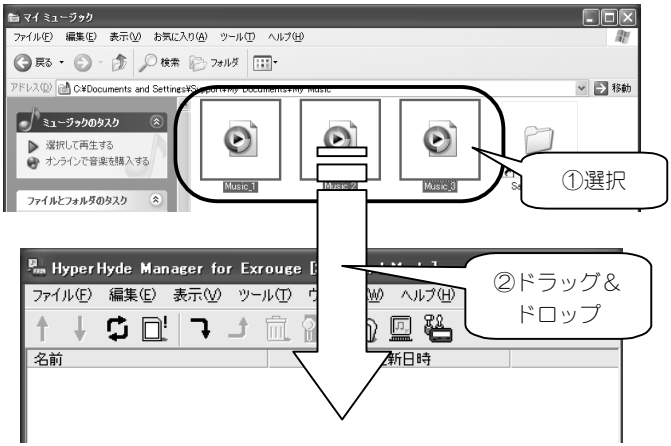
●その他の Windows の場合

[スタート]→[プログラム]→[HyperHyde Manager]→[HyperHyde Manager for Exrouge]をクリックします。

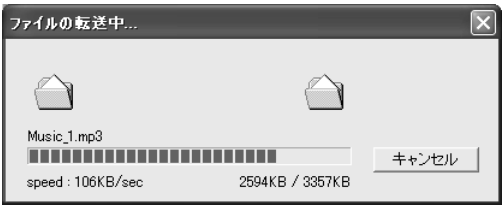
4

[マイコンピュータ]などで録音したい MP3 データを表示し、HyperHyde Manager の画面へドラッグ &ドロップします。

「HyperHyde CD Ripper」でリッピングした MP3 データを録音したいときは、「HyperHyde Manager」の アイコンをクリックすると表示されます。



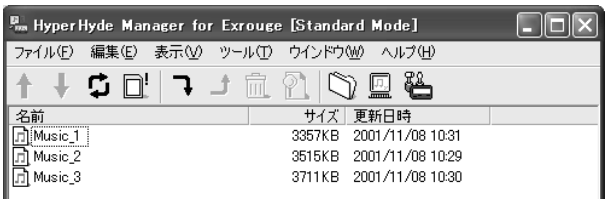
5 MP3 データの転送(録音)を開始します。



注意！

ファイル転送中の画面が表示されているときは、パソコンから本製品を取り外したり、本製品の専用 USB ケーブルを抜かないでください。

6 ドラッグした全ての MP3 データが表示されれば、転送(録音)完了です。



注意！

本製品添付の「HyperHyde CD Ripper」以外を使って作成したMP3データの場合、正しく曲情報が表示されない場合があります。その場合は「トラブルQ＆A」にある「曲情報が正しく表示されない」(95 ページ)を参照してください。

39 ページ「本製品を取り外すには」を参照して、本製品をパソコンから取り外してから、55 ページ「音楽を聴こう」へ進んでください。

このソフトウェアには、曲の転送のほか、いろいろと便利な機能があります。次ページの「HyperHyde Manager の便利な使い方」も合わせてご覧ください。

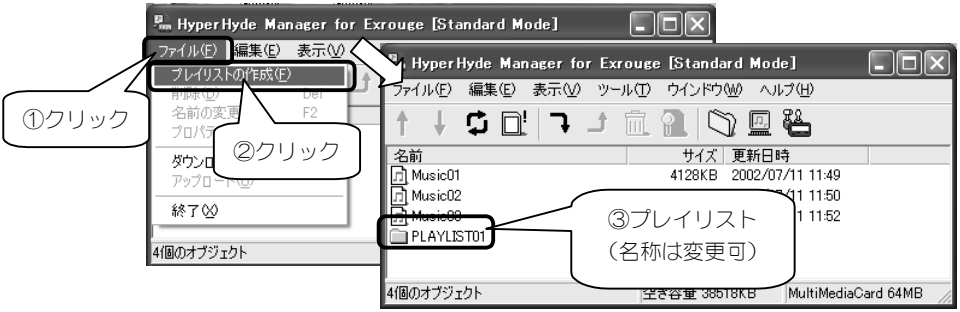
HyperHyde Manager の便利な使い方

■プレイリストを作成・使用する(Windows のみ)■

プレイリストを作成すると、本製品に録音されている曲からプレイリストに登録した曲のみ再生（リピート再生）することができます。本製品に録音された曲数が多くなったときに、自分の聴きたい曲だけ選んで再生する場合などに便利です。
※プレイリストは最大 16 個まで作成できます。

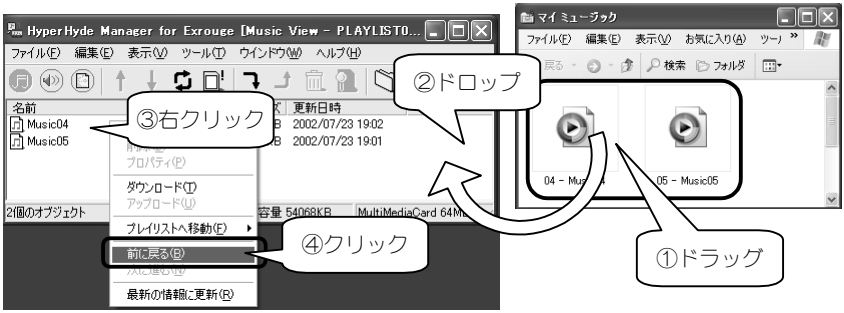
プレイリスト作成方法1

［ファイル］→［プレイリストの作成］をクリックします。



●プレイリストへの曲の登録

作成したプレイリストをダブルクリックするとプレイリストに登録された MP3 データが表示されます。（作成した直後は何も登録されていません。）
この状態で MP3 データをドラッグ＆ドロップするとプレイリストに登録されます。
プレイリスト表示から元に戻るには、右クリック→［前に戻る］をクリックします。



注意！

1. **同じ名前のプレイリストは作成できません。**
2. **プレイリスト内にプレイリストは作成できません。**
3. **液晶ディスプレイでは、プレイリスト名称は、半角 12 文字（全角 6 文字）までの表示となります。13 文字目以降は表示されません。**

プレイリスト作成方法2

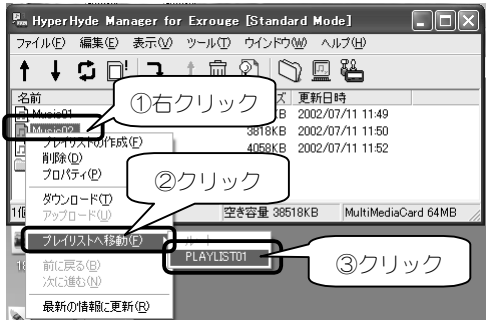
MP3 データが入ったフォルダを、HyperHyde Manager 画面に、ドラッグ＆ドロップします。そのフォルダ名のプレイリストが作成されます。

注意！

ドラッグしたフォルダ内に複数フォルダがある場合でも、ドラッグしたフォルダのプレイリスト内に全ての MP3 データが登録されます。

プレイリストへの曲の転送方法

転送したい曲を選び（右クリック）→[プレイリストへ移動]→[移動したいプレイリスト]をクリックします。



注意！

プレイリスト内に登録できるのは音楽データのみです。

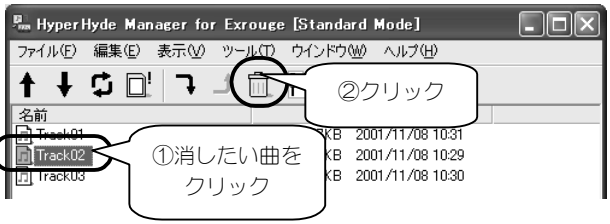
■曲の順番を変える■

本製品で音楽を再生するときは、HyperHyde Managerfor Exrouge で表示されている順番になります。

↑をクリックすると選択した曲が１つ前になり、↓をクリックすると選択した曲は１つ後になります。

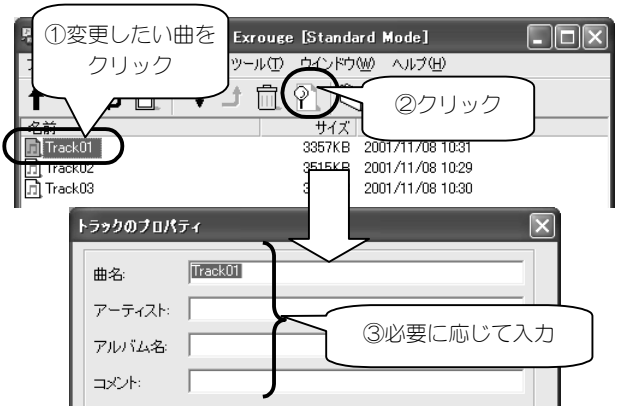
■特定の曲を削除する■

消したい曲を選び、アイコンをクリックします。確認メッセージが表示されたら、[はい]をクリックしてください。



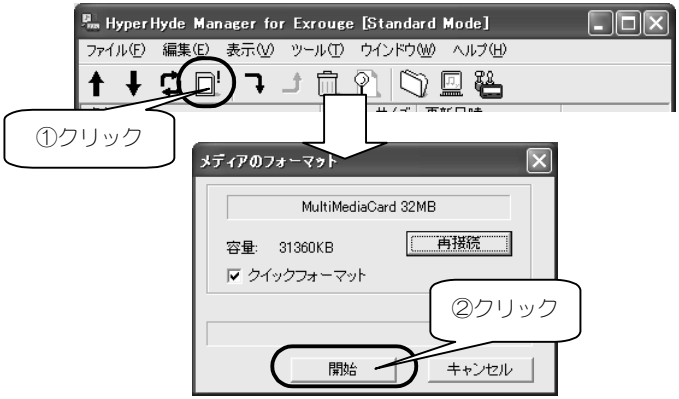
■曲名などを変更する■

変更したい曲を選び、アイコンをクリックします。日本語も使えます。



■全曲を削除する(メディアのフォーマット)■

アイコンをクリックすると、カード全体の内容を削除できます。

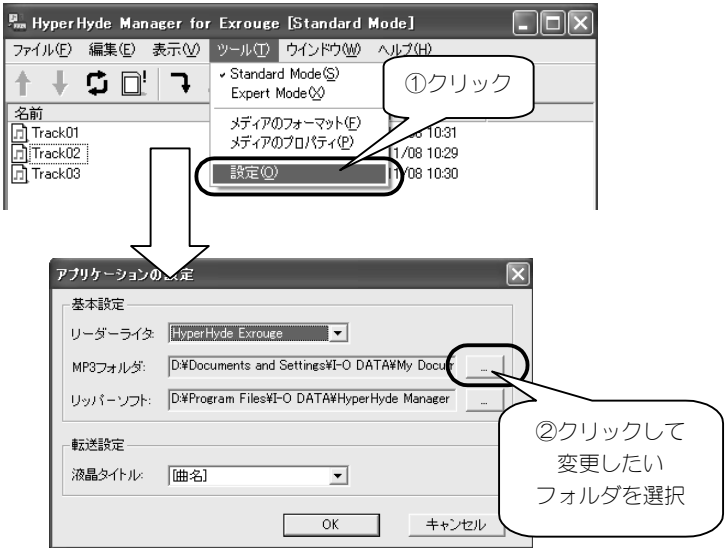


[再接続]：<Not Available>と表示されたり、容量が正しく表示されない場合に、クリックしてください。

[クイックフォーマット]：フルフォーマットとクイックフォーマットを切り替えます。通常はチェックした状態（クイックフォーマット）でお使いください。

■MP3 作成用のフォルダを変更する■

[ツール]→[設定]をクリックします。



■音楽再生時に表示する曲情報を変更する■

本製品で音楽を再生するときは液晶ディスプレイに曲情報を表示します。初期値は[曲名]ですが、アーティスト名やコメントなども表示することができます。
前ページ「MP3 作成用のフォルダを変更する」と同じ手順で、液晶タイトルを変更してください。
（長い曲情報は、自動的に 23 文字（全角）程度以上はカットされます。）

■液晶ディスプレイやボタン操作をカスタマイズする■

アイコンをクリックしてください。詳しい操作は 65 ページ「カスタマイズしよう」を参照してください。

■起動音や終了音などを変える■

ご自分のお好きな音（MP3 データ）を作成し、それを本製品に転送すれば、本製品の起動音や終了音などを変更できます。詳しくは 86 ページ「Sound View の使い方」を参照してください。

■リーダーライタなどを利用して音楽データを転送する■（Windows のみ）

メモリカードに対応したリーダーライタや PC カードアダプタを使用することでより高速に音楽データを転送することができます。設定方法は 85 ページ「アプリケーションの設定ダイログ」を参照してください。

対応製品：USB-SDRW（弊社製品）
PCSD-ADP（弊社製品）
PCSDⅡ-ADP（弊社製品）
PC4in1-ADP（弊社製品）

注意！ リーダーライタ使用時の注意事項

1. **メモリカードのフォーマットなど HyperHyde Manager の一部機能は動作いたしません。**
2. **メディアがない状態の時に、HyperHyde Manager よりメディアにアクセスしようとすると、エラーメッセージが表示される場合があります。**

その他、HyperHyde Manager の全機能は 80 ページ「HyperHyde Manager の機能」を参照してください。

本製品を取り外すには

Windows 起動中に本製品を取り外す方法を説明します。
Windows 終了後（パソコンの電源が切れている状態）では、専用 USB ケーブルを抜くだけでOKです。

注意！

USB ケーブルの抜き差し時に、液晶ディスプレイに残像が発生する場合があります。

■Windows Me/98 でお使いの場合

専用 USB ケーブルを抜くだけでOKです。

※HyperHyde Manager や HyperHyde CD Ripper が終了していることを確認してから、USB ケーブルを抜いてください

■Windows XP/2000 でお使いの場合

Windows XP の場合はコンピュータの管理者で、Windows 2000 の場合は Administrator 権限でログオンしてください。

1 HyperHyde Manager や HyperHyde CD Ripper が終了していることを確認します。

2 画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします。

3 取り外し（もしくは停止）のメッセージが表示されますので、それをクリックして閉じます。

注意！

下記の画面が表示されたときは本製品を取り外せません。本製品を使用しているプログラムを終了させてから、再度、手順 *2* から行ってください。

インストールした情報を削除するには

ここではご使用の OS に合わせて、サポートソフトの削除方法を説明します。必要なページをご参照ください。

- Windows XP でお使いの場合→下記
- Windows 2000 でお使いの場合→43 ページ参照
- Windows Me/98 でお使いの場合→44 ページ参照

Windows XP の場合

※コンピュータの管理者で、でログオンしてください。

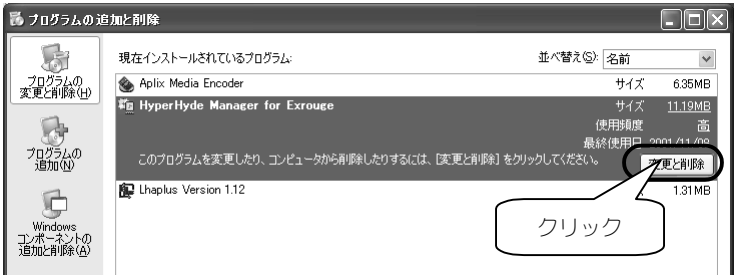
1 39 ページ「本製品を取り外すには」を参照して、本製品をパソコンから取り外します。

2 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。

3 [プログラムの追加と削除]をクリックします。

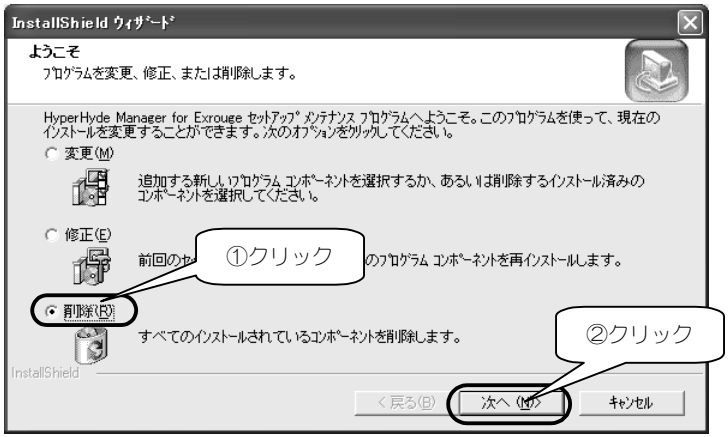
4

[HyperHyde Manager for Exrouge]を選び、[変更と削除]ボタンをクリックします。



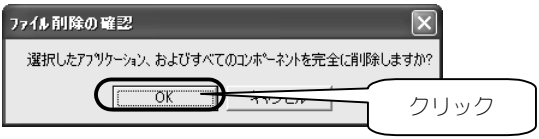
5

[削除]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。

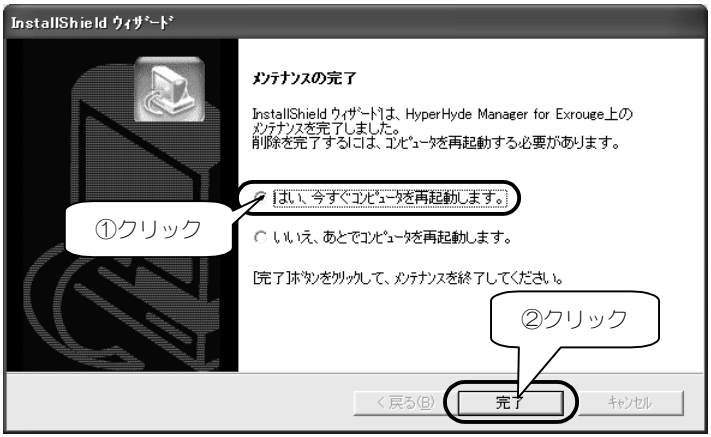


6

[OK]ボタンをクリックします。



7 [はい、今すぐ・・・]をクリックし、[完了]ボタンをクリックします。



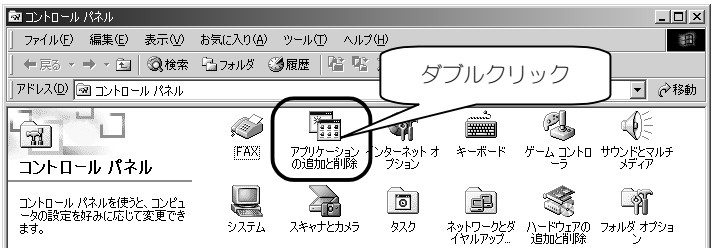
パソコンが再起動したら、サポートソフトの削除は終了です。

Windows 2000 の場合

※Administrator の権限でログオンしてください。

1 39 ページ「本製品を取り外すには」を参照して、本製品をパソコンから取り外します。

2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。



3 [I-O DATA MDM-H205]を選び、[変更/削除]ボタンをクリックします。

この後の手順は 41 ページ手順 **5** 以降と同じです。

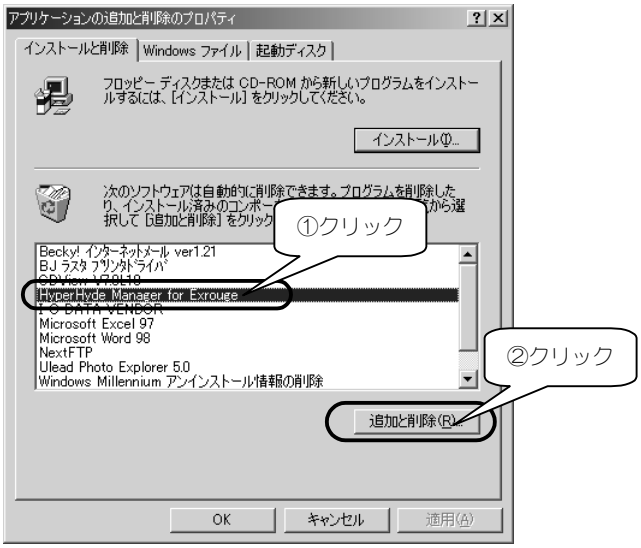
Windows Me/98 の場合

本書で使用している画面は Windows Me のものですが、Windows 98 をお使いの場合でも操作は同じです。

1 39 ページ「本製品を取り外すには」を参照して、本製品をパソコンから取り外します。

2 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。

3 [HyperHyde Manager for Exrouge]を選び、[追加と削除]ボタンをクリックします。



以降は画面の指示にしたがってください。

3 音楽を録音しよう（Macintosh 編）

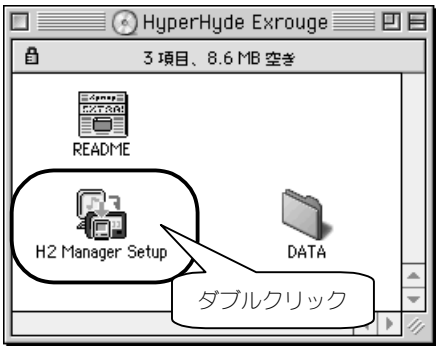
ここでは、本製品添付のサポートソフトを使って、本製品にお好きな音楽を録音する方法を説明します。
Windows をお使いの場合は、9 ページ「音楽を録音しよう（Windows 編）」を参照してください。

サポートソフトをインストールする

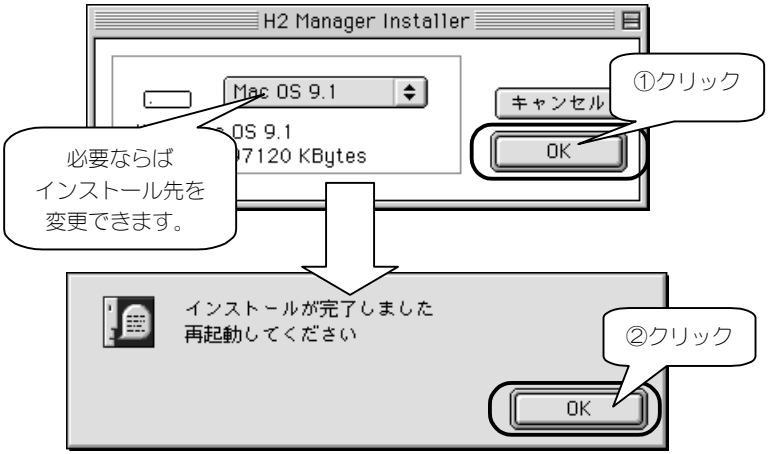
ここではまだ本製品をパソコンに接続しないでください。

1 Mac OS を起動し、「サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

2 しばらくして下記のように表示されたら、[H2 Manager Setup]をダブルクリックします。



3 画面の指示にしたがって、処理を進めます。



4 パソコンを再起動します。

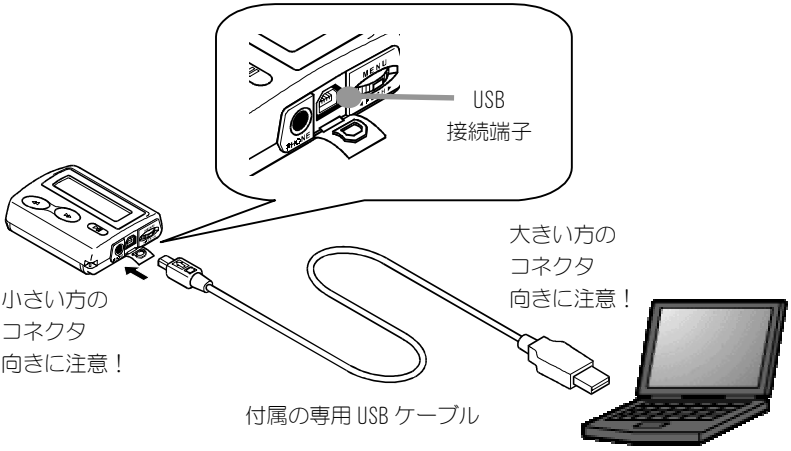
パソコンが再起動したら、インストール完了です。
次はパソコンと本製品を接続し、正常にインストールされたかどうか、確認してみましょう。次ページへ進んでください。

インストール後の確認

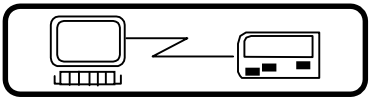
1 パソコンが再起動したら、本製品をパソコンに接続します。

本製品側面のゴムカバーを開け、専用 USB ケーブルの小さい方のコネクタを USB 接続端子に接続します。大きい方のコネクタはパソコンの USB コネクタに差し込みます。

USB コネクタには向きがありますので、入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。



2 本製品の液晶ディスプレイに接続中の図が表示されますので確認します。

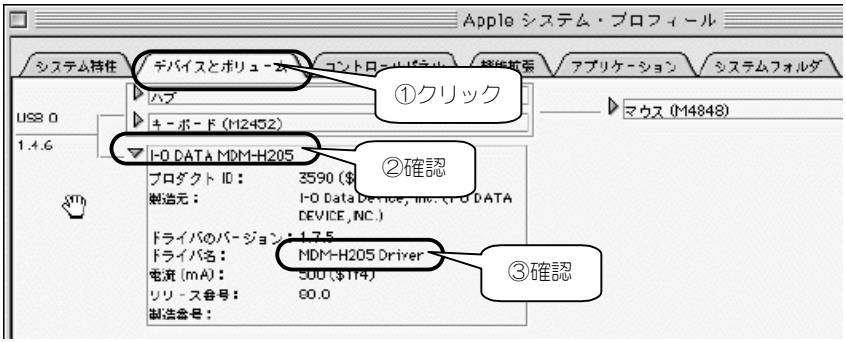


3

アップルメニューから[Apple システム・プロフィール]を起動します。

4

[デバイス(または装置)とボリューム]タブをクリックして、[I-O DATA MDM-H205]と表示されていることを確認します。
先頭の▶をクリックして、ドライバ名に[MDM-H205 Driver]と表示されていることも確認します。



「I-O DATA MDM-H205」や「MDM-H205 Driver」が表示されない場合は…

「トラブルQ&A」
93 ページ
をご参照ください。

5

左上の□ボタンをクリックして、画面を閉じます。

確認できたら、次ページ「音楽を録音する」へ進んでください。

音楽を録音する

ここでは、MP3 データを本製品に録音（転送）する方法を説明します。
本製品には Macintosh 用のリッピングソフトは添付されておりません。音楽 CD から MP3 形式の音楽データを作成するには、リッピングソフト（「iTunes2」など）を使って、MP3 データを作成してください。

MP3 データを転送する

本製品添付の「HyperHyde Manager for Exrouge」を使います。

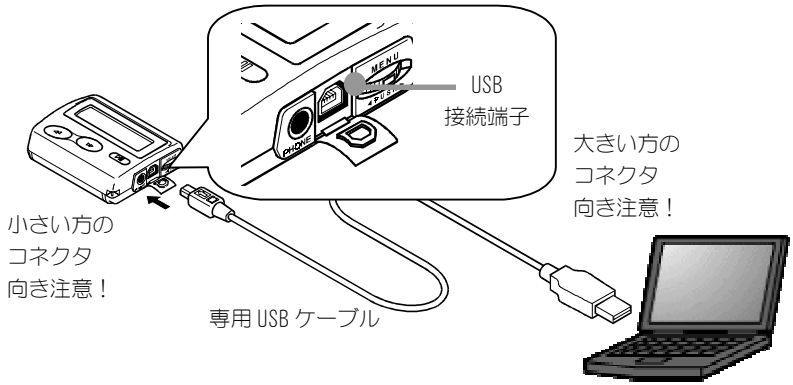
チェック

以下の準備ができていることを確認してください。

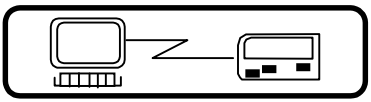
- パソコンに MP3 データがあること
- 本製品に空き容量のあるカードがセットしてあること

1 本製品をパソコンに接続します。

本製品側面のゴムカバーを開け、専用 USB ケーブルの小さい方のコネクタを USB 接続端子に接続します。大きい方のコネクタはパソコンの USB コネクタに差し込みます。
USB コネクタには向きがありますので、入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

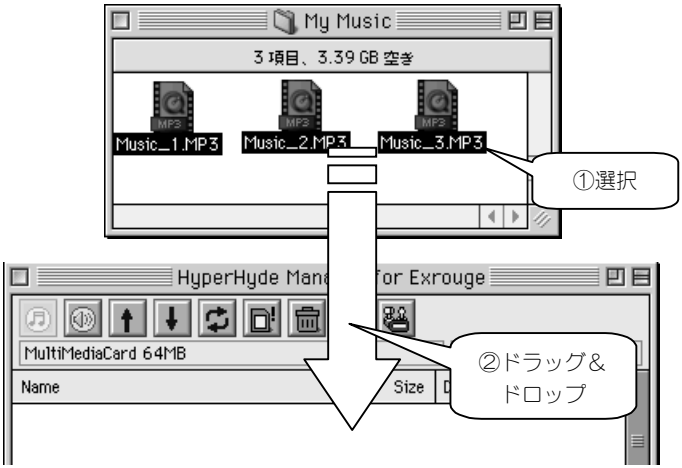


2 本製品の液晶ディスプレイに接続中の図が表示されますので確認します。



3 サポートソフトをインストールしたフォルダにある[H2 Manager]フォルダを開き、[H2 Manager]アイコンをダブルクリックします。

4 HyperHyde Maneger が起動したら、録音したい MP3 データを、HyperHyde Manager の画面へドラッグ &ドロップします。

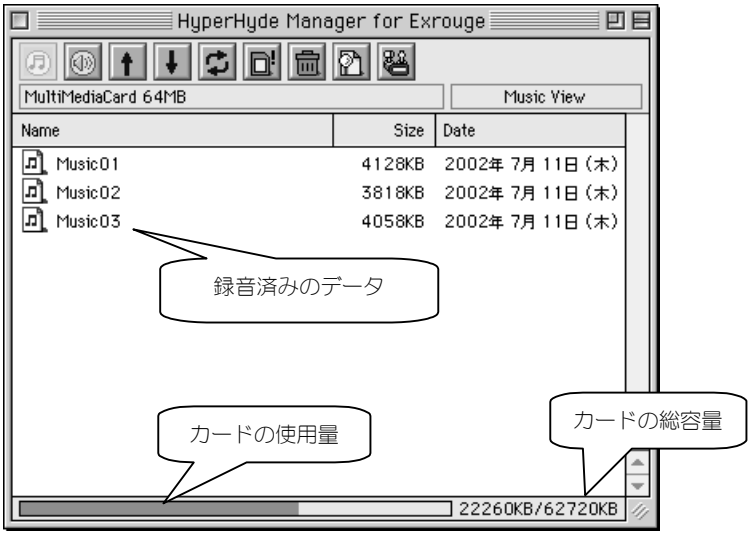


5 MP3 データの転送(録音)を開始します。

注意！

ファイル転送中の画面が表示されているときは、パソコンから本製品を取り外したり、本製品から専用 USB ケーブルを抜かないでください。

6 ドラッグした全ての MP3 データが表示されれば、転送(録音)完了です。



注意！

MP3 データ作成時の設定によっては、HyperHyde Manager で正しく曲情報が表示されない場合があります。その場合は「トラブルQ＆A」にある「曲情報が正しく表示されない」(95 ページ)を参照してください。

パソコン本体から専用 USB ケーブルを外して、音楽をお楽しみください (55 ページ「音楽を聴こう」参照)。

注意！

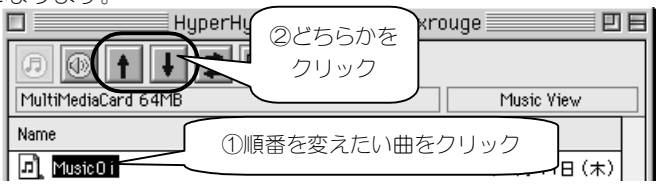
USB ケーブルの抜き差し時に、液晶ディスプレイに残像が発生する場合があります。

このソフトウェアには、曲の転送のほか、いろいろと便利な機能があります。次ページの「HyperHyde Manager の便利な使い方」も合わせてご覧ください。

HyperHyde Manager の便利な使い方

■曲の順番を変える■

本製品で音楽を再生するときは、ここで表示されている順番になります。
↑をクリックすると選択した曲が１つ前になり、↓をクリックすると選択した曲は１つ後になります。

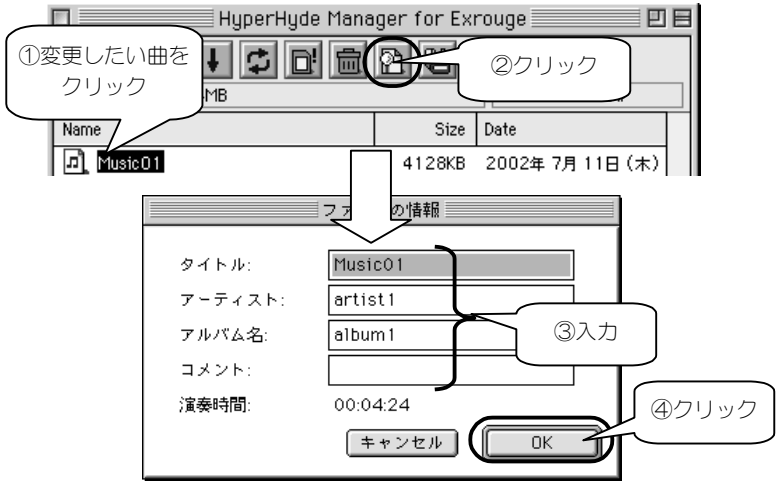


■特定の曲を削除する■

削除したい曲を選び、🗑アイコンをクリックします。確認メッセージが表示されたら、[はい]をクリックしてください。

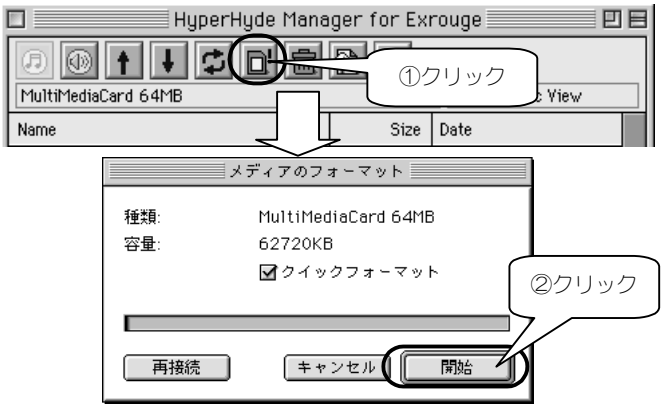
■曲名などを変更する■

変更したい曲を選び、アイコンをクリックします。日本語も使えます。



■全曲を削除する(メディアのフォーマット)■

アイコンをクリックすると、カード全体の内容を削除できます。



[再接続]：<Not Available>と表示されたり、容量が正しく表示されない場合に、クリックしてください。

[クイックフォーマット]：フルフォーマットとクイックフォーマットを切り替えます。通常はチェックした状態（クイックフォーマット）でお使いください。

■音楽再生時に表示する曲情報を変更する■

本製品で音楽を再生するときは液晶ディスプレイに曲情報を表示します。初期値は[曲名]ですが、アーティスト名やコメントなども表示することができます。メニューから[ツール]－[設定]を選び、液晶タイトルを変更してください。
（曲情報は、23 文字（全角）まで表示されます。）

■液晶ディスプレイやボタン操作をカスタマイズする■

アイコンをクリックしてください。詳しい操作は 65 ページ「カスタマイズしよう」を参照してください。

■起動音や終了音を変える■

アイコンをクリックすると、[Sound View]となり、本製品に設定されている起動音などの音データが表示されます。ご自分のお好きな音（MP3 データ）を作成し、それを本製品に転送すれば、自由に起動音や終了音を変更できます。詳しくは 86 ページ「Sound View の使い方」を参照してください。

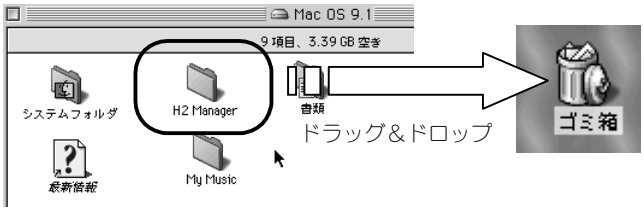
その他、HyperHyde Manager の全機能は 80 ページ「HyperHyde Manager の機能」を参照してください。

インストールした情報を削除するには

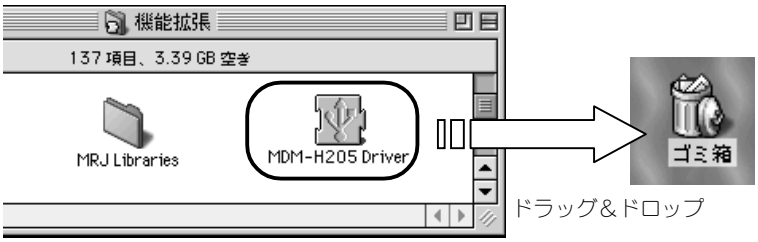
本製品の使用を中止したいときや、インストールをもう１度やり直すときは、インストールした情報を削除する（アンインストール）必要があります。

1 本製品が使用中でないことを確認し、パソコンの USB ポートから本製品のケーブルを抜きます。

2 サポートソフトをインストールしたフォルダにある[H2 Manager]フォルダごと、ゴミ箱にドラッグ &ドロップします。

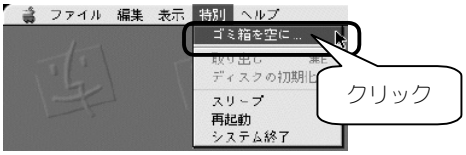


3 [システムフォルダ]の[機能拡張]フォルダにある[MDM-H205 Driver]をゴミ箱にドラッグ &ドロップします。



4 パソコンを再起動します。

5 再起動したら、[特別]－[ゴミ箱を空に]をクリックします。



これでサポートソフトの削除ができました。

4 音楽を聴こう

音楽を再生する

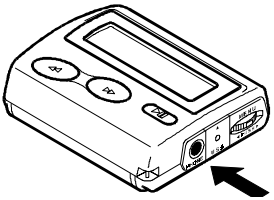
まずは音楽を聴くための基本操作を説明します。ボタン操作や液晶表示はカスタマイズで変更できますが、ここでは工場出荷時の標準パターンで説明します。

チェック

以下の準備ができていることを確認してください。

- 本製品がパソコンから取り外されていること
- 単 4 アルカリ乾電池と録音済みのカードがセットしてあること

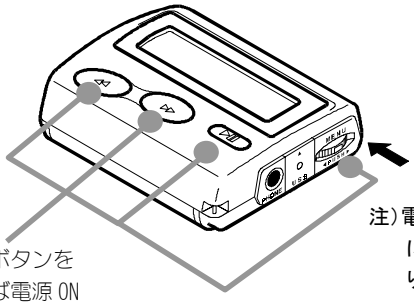
1 イヤホンを接続します。



イヤホンを接続

注）停止状態でイヤホンを挿すとノイズが発生する場合がありますのでご注意ください。

2 [◀◀]ボタン、[▶▶]ボタン、[▶||]ボタン、ジョグスイッチのいずれかを長押しすると、本製品の電源が入ります。



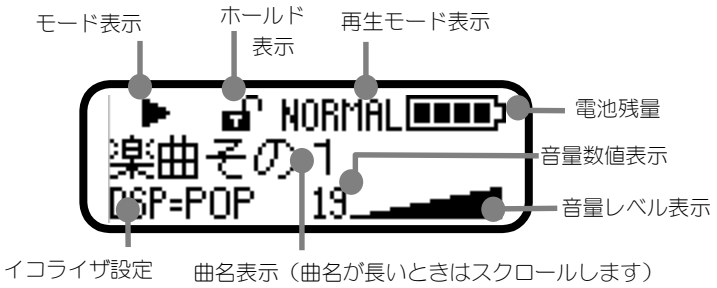
いずれかのボタンを
長押しすれば電源 ON

注）電源投入時ビープ音の直後にノイズが発生する場合がありますのでご注意ください。

3 音楽の再生を開始します。

再生中の液晶ディスプレイを下記に示します。
再生中の操作については、次ページを参照してください。

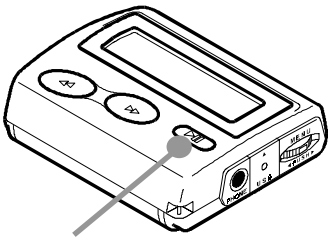
■音楽スタート時（曲名が約 2〜6 秒間表示されます）



■曲名が消えると･･･

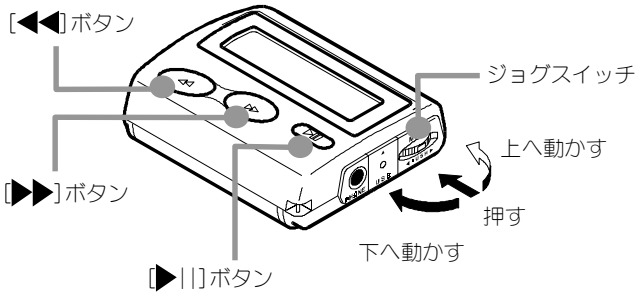
4 ▶||ボタンを長押しすると、電源が切れます。

出荷時設定では、全曲再生すると自動的に電源が切れます。



再生中のいろいろな操作

ボタン操作や液晶表示はカスタマイズで変更できますが、ここでは工場出荷時の標準パターンで説明します。



したいこと	操作	液晶ディスプレイ
電源を切りたい	[▶||]ボタンを長押しする。	
音量を変えたい	ジョグスイッチを上に動かすと音量アップ、下に動かすと音量ダウン	音量レベルが変化
一時停止したい	[▶||]ボタンを押す。 一時停止状態で約 20 秒間、操作しないと自動的に電源が切れます。	モード表示が[■]
一時停止を解除して再生したい	一時停止中に[▶||]ボタンを押す。	モード表示が[▶]
次の曲を再生したい	[▶▶]ボタンを押す。	次の曲名を表示
再生中の曲を先頭から再生したい	[◀◀]ボタンを押す。	再生中の曲名を表示
前の曲を再生したい	[◀◀]ボタンを2回押す。	前の曲名を表示
早送りしたい	[▶▶]ボタンを長押しする。	モード表示が[▶▶]になり、再生時間が変化
早戻ししたい	[◀◀]ボタンを長押しする。	モード表示が[◀◀]になり、再生時間が変化

したいこと	操作	液晶ディスプレイ
誤操作防止のため、ボタン操作無効にしたい	ジョグスイッチを長押しする。 ホールド状態にすると、ホールド解除のためのジョグスイッチ長押し以外、全てのボタン操作が無効となります。	ホールドマーク表示 :ホールド状態 :ホールド解除
細かい設定をしたい	ジョグスイッチを押す。 次ページ「いろいろな設定を行う」参照	メニュー設定表示

ボタン動作や液晶ディスプレイのデザイン変更などはパソコンから指定することができます。詳しくは 65 ページ「カスタマイズしよう」を参照してください。

電池について

アルカリ乾電池の連続再生時間は約 20 時間です（省電力設定時。使用状況によって異なります）。
ただし、本製品添付のアルカリ乾電池は動作確認用であり、早めに新しいアルカリ乾電池とお取り替えください。
電池の残量は液晶ディスプレイに表示されています。電池残量は以下のように変わります。残量が少なくなったら、早めに交換してください。

この状態になったら、
早めに電池を交換してください

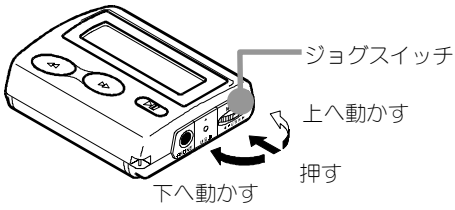
電源が切れます

注意！

「安全にお使いいただくために」にある「電池について」（vii～viiiページ）をよくお読みの上、ご使用ください。

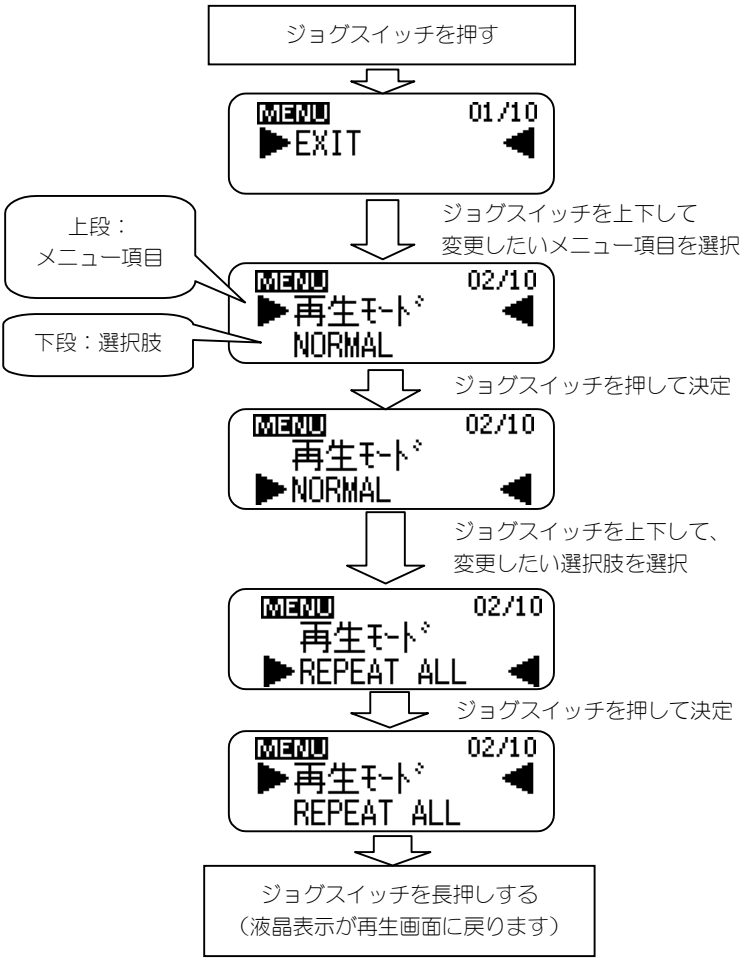
いろいろな設定を行う

ここでは本製品のメニュー設定について説明します。これらの設定は、ジョグスイッチを使って行います。



メニュー設定の方法

ここでは再生モードを変更する例をあげて、メニュー設定の方法を説明します。



メニュー設定の詳細

ここでは、メニュー設定の詳細を説明します。各項目の選択肢にある【初】は工場出荷時の初期値です。

	項目	設定内容と選択肢
工場出荷時の設定で表示されるメニュー項目	EXIT	メニュー設定を終了します。
	プレイリスト	プレイリストを選択します。 一時停止中のみ本項目が表示され、作成されたプレイリストを選択することができます。 [ALL]：全ての曲を選択 [プレイリスト選択時]：選択したプレイリストに登録されている曲だけ再生
	再生モード	再生時のリピート状態を切り替えます。 **[NORMAL]：全曲１回再生後、電源 OFF【初】** [REPEAT ALL]：全曲リピート再生 [REPEAT ONE]：１曲リピート再生 [RANDOM]：全曲ランダムで再生後、電源 OFF [RANDOM REP]：全曲ランダムで再生を繰り返し 設定終了後、液晶ディスプレイには次のように表示されます。 ノーマル：[NORMAL] 全曲リピート再生：[ALL] １曲リピート再生：[1] ランダム再生：[RANDOM] ランダムリピート再生：[R]

	項目	設定内容と選択肢
工場出荷時の設定で表示されるメニュー項目	イコライザ	イコライザ（音質）を切り替えます。 イコライザの設定はパソコンのカスタマイズで自由に変更できますが、工場出荷時には次のプリセット名が割り当てられています。 **[Type-1]：Pop【初】** [Type-2]：Rock [Type-3]：Techno [Type-4]：Club [Type-5]：Normal 設定終了後、液晶ディスプレイには[DSP=プリセット名]が表示されます。
	音漏れ防止	音漏れ防止機能の有無を切り替えます。 [ON]：音漏れ防止あり イヤホンから漏れる音を抑えるので、周りの人の迷惑になる場所での再生に効果的です。 **[OFF]：音漏れ防止なし【初】**
	オートスクリーンオフ	液晶ディスプレイの省電力機能の有無を切り替えます。 [ON]：省電力機能を使う 再生中、一定時間操作がない場合、液晶ディスプレイの表示をやめ、電池の消耗を少なくします。液晶ディスプレイの表示を再開するにはジョグスイッチを押します。 **[OFF]：省電力機能を使わない【初】** オフまでの時間はパソコンから設定できます。
	バックライト	バックライト点灯機能の有無を切り替えます。 **[ON]：バックライトを点灯する【初】** [OFF]：バックライトを点灯しない バックライトの点灯時間はパソコンから設定できます。 ※電池残量が少なくなると、バックライトを ON にしていても、バックライトは点灯しませんのでご注意ください。

	項目	設定内容と選択肢
工場出荷時の設定で表示されるメニュー項目	液晶濃度	液晶濃度を 5 段階のうちから選択できます。実際に液晶表示の濃さが変わりますので、見やすい濃度に設定してください。初期値は[普通]です。
	曲タイトル表示	曲名の表示スピードを選択できます。 [OFF]：曲名を表示しない （トラック開始時、「JOG-P」ダブルクリックでの表示時はスクロールなしで表示します。） [高速スクロール]：高速で表示する **[中速スクロール]：中速で表示する【初】** [低速スクロール]：低速で表示する
	全項目表示	設定できる項目をすべて表示します。 ※全項目表示になっているときは表示されません。
	情報表示	各種情報を表示します。 [バージョン情報]：バージョン情報表示 [ユーザー名]：ユーザー名表示 [プレーヤー名]：プレーヤー名表示 [コメント]：コメント表示（コメントが入力されていない場合はこの選択肢自体が表示されません）。 以上の情報はパソコンから設定できます。（バージョン情報は除く）

	項目	設定内容と選択肢
「全項目表示」を指定した時に追加で表示されるメニュー項目	レジューム	電源を入れたとき、最初に再生する位置を設定します。 ［OFF］：常に最初の曲から再生（プレイリストの設定もクリアされます） ［曲の途中から］：再生を中断した場所から **［曲の最初から］：再生を中断した曲の先頭から【初】**
	操作音	ボタンを押した時の操作音の有無を切り替えます。 **［ON］：操作音あり【初】** ［OFF］：操作音なし
	曲間ブランク	曲間ブランクの有無を切り替えます。 ［ON］：曲間にブランクを空けて再生 **［OFF］：曲間にブランクなしで再生【初】** 曲間ブランクの長さはパソコンから設定できます。
	モノラル出力	モノラル出力の設定を切り替えます。 ［ON］：イヤホンの左右それぞれにL＋Rの音声を出力するので片耳だけ付けた場合でも楽曲本来の音が聞けます。 **［OFF］：イヤホンのLとRにそれぞれの音声を出力する【初】**
	HOLD	ホールド状態と解除を切り替えます。 ※ パソコンからのカスタマイズ時に、ジョグスイッチの動作にHOLDの割り当てがない場合は、必ず表示されます。

これらの設定をパソコンから行うこともできます。詳細は「カスタマイズしよう」の「メニュー設定」（71ページ）または「拡張設定」（74ページ）を参照してください。

memo

5 Exrouge 上級編

本製品には、サポートソフトを使った強力なカスタマイズ機能があります。
ここでは、そのカスタマイズ機能のほか、「HyperHyde Manager for Exrouge」および「HyperHyde CD Ripper for Exrouge」の機能を説明します。
これまでの章をよくご理解いただいた上で、ご覧ください。

この章は Windows、Macintosh 共通です。本書での画面例は Windows のものですが、特に明記のない限り、Macintosh でも使い方は同じです。

カスタマイズしよう

カスタマイズでできることは以下のとおりです。

液晶設定 →次ページ参照	液晶ディスプレイの表示デザインを変更できます。あらかじめ用意してあるデザインの中からお好みのものを選択してください。
操作設定 A →68 ページ参照	本製品のボタン（[◀◀]ボタン、[▶▶]ボタン、[▶||]ボタン、ジョグスイッチ）に割り当てる操作を変更できます。あらかじめ用意してあるパターンの中からお好みのものを選択してください。
操作設定 B →69 ページ参照	電源 ON のボタンや電源 ON 直後のアクション、早送り／巻き戻し、操作オプションの設定ができます。
メニュー設定 →71 ページ参照	本製品に対して各種設定を行ったり、本製品側のメニュー設定で表示する項目を変更できます。
イコライザ設定 →72 ページ参照	イコライザの TYPE に割り当てるプリセットを変更したり、お好みの音質のプリセットを作成することができます。 （音質の作成は Windows 版のみ）
拡張設定 →74 ページ参照	各種設定の時間や省電力設定、ユーザー情報などを設定できます。

カスタマイズの基本操作

本製品のカスタマイズは「HyperHyde Manager for Exrouge」を使って行います。

1 本製品をパソコンに接続し、「HyperHyde Manager for Exrouge」を起動します。

2 アイコンをクリックします。

3 カスタマイズしたいタブをクリックします。

4 項目を設定後、[保存]ボタンをクリックすると、設定が本製品に反映されます。

液晶設定

液晶ディスプレイの表示デザインを変更します。

設定項目	内容
液晶パッケージ 初期値：出荷状態	<Current LCD>が現在の設定です。 選択肢の中からお好みのデザインを選んでください。 [テスト]をクリックすると、デザインが確認できます。 注意 **液晶パッケージによりパソコンの接続画面やメニュー内の表示などが変更されるものがあります。** ※ Macintosh をお使いの場合、<Current LCD>のときは液晶表示は表示されません。 ※ Windows をお使いの場合、録音済みのメディアが入っていると実際の音楽を再生した状態でのモニタリングができます。 （テスト用のため、状態によっては音飛びなどが発生する場合があります。）
トラック開始時にタイトルを表示 初期値：ON	トラック開始時（曲の再生開始時）にタイトルの表示の有無を切り替えます。 [ON]：曲の再生開始時に曲タイトルを表示する。 [OFF]：曲の再生開始時に曲タイトルを表示しない。
上下を逆に表示 初期値：OFF	ON にすると、液晶画面の上下を逆に表示します。※ （各キー操作も合わせて逆になります。）
白黒反転表示 初期値：OFF	ON にすると、液晶画面の白黒を反転して表示します。※

※パソコンの画面には反映されません。

操作設定 A

本製品のボタン（[◀◀]ボタン、[▶▶]ボタン、[▶||]ボタン、ジョグスイッチ）に割り当てる操作を変更できます。

設定項目	内容
キーコンフィグ 初期値：CONFIG-1	選択肢の中からお好みのボタン操作パターンを選んでください。

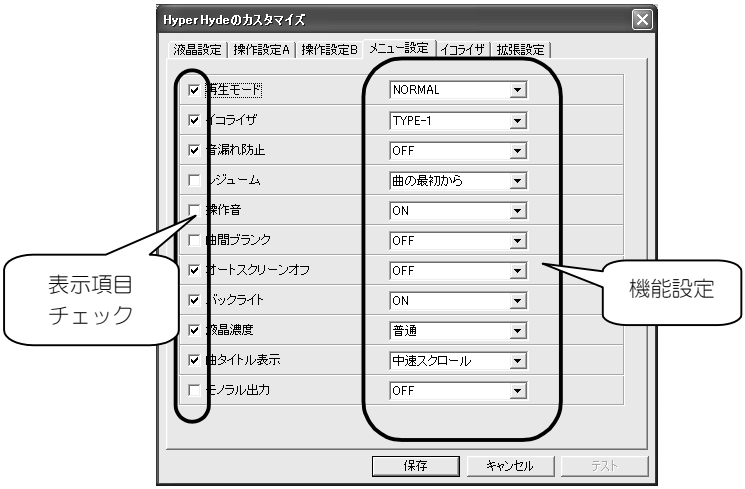
操作設定 B

電源 ON のボタンや電源 ON 直後のアクション、早送り／巻き戻し、操作オプションの設定ができます。各設定の詳しい説明は次ページをご覧ください。

設定項目		内容
起動設定	起動キー 初期値：AnyKey	電源を入れるときのボタンを指定することができます。 [AnyKey]：どのボタンを長押ししても電源 ON （ジョグスイッチ上/下除く） [KEY-P]：[▶||]ボタンの長押しで電源 ON [JOG-P]：ジョグスイッチを長押しすると電源 ON [KEY-F]+[KEY-R]：[◀◀]ボタンと[▶▶]ボタンを同時に押すと電源 ON
	起動キーは 2 度押しが必要 初期値：OFF	ON にすると、2 度押ししないと起動できません。 一度、起動キーを長押しして、液晶に画面が表示されてからもう一度キーを押すことで起動できます。
	起動時の状態 初期値：自動再生	電源を入れたときの動作を選択できます。 [自動再生]：電源 ON と同時に再生を始めます。 [スタンバイ]：電源 ON するだけでは再生はしません。
早送り／巻き戻し	速度 初期値：LEVEL3	早送り／巻き戻しの速度を５段階で設定できます。 LEVEL1(遅い) <------> LEVEL5(速い)
	効果音 初期値：5 秒進むごとに再生	早送り／巻き戻し時の効果音を何秒ごとに鳴らすかを設定できます。
操作オプション	[JOG-P]ダブルクリックで表示切り換え 初期値：OFF	ON にすると[JOG-P]をダブルクリックするたびに[演奏時間]→[残り時間]→[曲タイトル表示]と切り換わります。
	曲送り／曲戻しを無効にする 初期値：OFF	ON にすると「曲送り／曲戻し」を無効にします。
	HOLD 中の表示切り換え 初期値：OFF	ON にすると HOLD 中でも[JOG-P]ダブルクリックで表示の切り換えができます。 （「[JOG-P]ダブルクリックで表示切り換え」が ON になっていないと動作しません。）
	HOLD 中のボリューム操作 初期値：OFF	ON にすると HOLD 中でも [▶||]ボタンを押しながらボリューム操作を行うことでボリューム値を変更できます。

メニュー設定

本製品に対して各種設定を行ったり、本製品側のメニュー設定で表示する項目を変更できます。

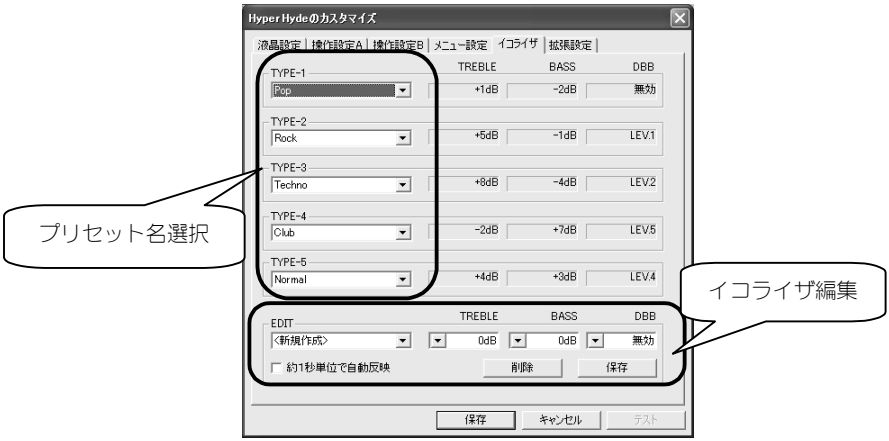


設定項目	内容
表示項目チェック 初期値：上記画面参照	チェックがついたものが本製品側で表示するメニュー項目になります。メニュー項目の詳細は 59 ページ「いろいろな設定を行う」を参照してください。 ※ チェックを外した項目でも、本製品側のメニュー設定で「全項目表示」を選べばすべてのメニュー項目を設定できるようになります（60 ページ「メニュー設定の詳細」参照）。
機能設定 初期値：上記画面参照	ここで選択した内容で本製品を設定します。 選択肢の意味や初期値設定については 60 ページ「メニュー設定の詳細」を参照してください。

イコライザ設定

■Windows の場合■

TYPE に割り当てるプリセットを変更したり、音質の変更ができます。

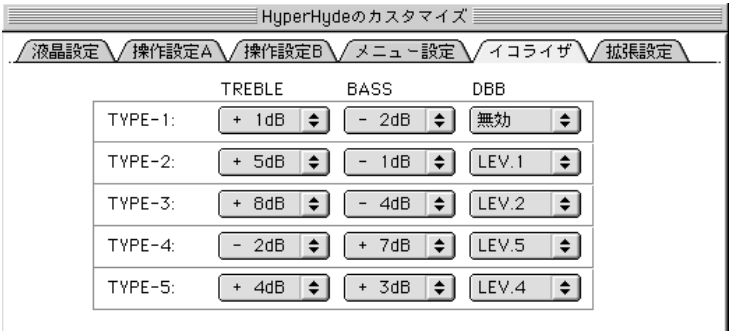


設定項目	内容
プリセット名選択 初期値：上図参照	TYPE-1 から TYPE-5 に割り当てるプリセット名を選択できます。あらかじめ設定してある 5 つのプリセットのほかに、イコライザ編集機能を使って、お好きなプリセットを作ることができます。作り方は下記の「イコライザ編集」を参照してください。
イコライザ編集 次ページ注意参照	■プリセットを修正するには 1. 修正したいプリセット名を選び、TREBLE、BASS、DBB を変更します。 2. イコライザ編集域にある[保存]ボタンをクリックします。 ■お好みの音質のプリセットを作成するには 1. <新規作成>を選び、TREBLE、BASS、DBB を設定します。 2. 「TREBLE」は高音部を、「BASS」は低音部の調整を行います。「+」方向で強める、「-」方向で弱めることができます。「DBB」はより低音部を強調する調整ができ、数字を大きくすることで低音が強まります。 3. イコライザ編集域にある[保存]ボタンをクリックします。 4. プリセット名入力画面が表示されるので、プリセット名称を入力します。 5. プリセット名選択で、作成したプリセット名を選びます。 ■プリセットを削除するには 削除したいプリセットを選び、イコライザ編集域にある[削除]をクリックします（削除した音質が割り当ててある TYPE は自動

	的に別のプリセットになりますので、確認してください。） ■約１秒単位で自動反映 ON にすると、約１秒単位で設定中の値が実際の再生音に反映されます。

■Macintosh の場合■

TYPE に割り当てる音質を変更できます。



設定項目	内容
TREBLE、BASS、DBB 初期値：上記画面参照	TYPE-1 から TYPE-5 までの音質を変更できます。 下記注意も参照してください。

注意！　Windows、Macintosh 共通

液晶ディスプレイに表示されるプリセット名と、TYPE の対応は以下のように固定になっています。

TYPE-1＝POP、TYPE-2＝ROCK、TYPE-3＝TECNO、TYPE-4＝CLUB、TYPE-5＝NORMAL

音質を変えたり、新しいプリセットを作成した場合（Windows 版のみ）でも、液晶ディスプレイの表示は変わりません。液晶表示パターンが出荷時設定の場合の例を説明します。

例１）TYPE-1 をクラシック向きの音質に変更した場合でも・・・
液晶ディスプレイには[DSP=POP]と表示される

例２）新しいプリセット「Classic」を作成し、TYPE-2 に割り当てた場合でも・・・
液晶ディスプレイには[DSP=ROCK]と表示される

液晶に表示されるプリセット名と実際の音質の違いが気になる場合は、液晶デザインのうち、プリセット名が表示されないタイプを選んでください。（66 ページ「液晶設定」参照）

拡張設定

以下の画面で各種設定を行います。

設定項目	内容
曲間ブランク時間 初期値：20	メニュー設定で曲間ブランクが ON になっているとき、曲と曲の間の無音時間を指定します（0.1 秒単位）。 ※ ゼロに設定しても曲の終了処理のため、ほんの少しのブランクは発生します。
オートパワーオフ時間 初期値：200	停止または一時停止状態で自動的に電源が切れるまでの時間を指定します（0.1 秒単位）。
オートスクリーンオフ時間 初期値：600	メニュー設定でオートスクリーンオフになっているとき、液晶表示が消えるまでの時間を指定します（0.1 秒単位）。
バックライト点灯時間 初期値：100	メニュー設定でバックライト点灯が ON になっているとき、バックライトが点灯している時間を指定します（0.1 秒単位）。
ユーザー情報	必要に応じて設定してください。本製品側のメニュー設定で確認することができます。
特殊設定	・[省電力設定]にすると、メニュー設定やパワーオフ時間などを省電力向けに設定します。[設定反映]ボタンをクリックすると、各設定が省電力設定に変更されるので確認できます。 ・[出荷時設定]で[設定反映]ボタンをクリックすると、本製品を出荷時設定にします。

HyperHyde CD Ripper の機能

ここでは、本製品添付の「HyperHyde CD Ripper for Exrouge」の機能を簡単に説明します。「HyperHyde CD Ripper for Exrouge」は音楽 CD から MP3 データを作成し、本製品に転送するソフトウェアです。
22 ページ「音楽 CD から録音する」も合わせてご覧ください。

注意！

このソフトウェアは Windows 版のみで、Macintosh では使用できません。

メニューバーの機能

コマンド欄のアイコンはツールバーにある同機能のアイコンです。

メニュー	コマンド	詳細
ファイル	HDD に保存	曲を選択（Track のチェックボックスが ON）したときに有効になります。選択曲を音楽 CD からリッピングし、MP3 フォルダへ保存します。本製品への転送は行いません。 MP3 フォルダについては 78 ページ「アプリケーションの設定ダイアログ」参照
	メディアに保存	曲を選択（Track のチェックボックスが ON）したときに有効になります。選択曲を音楽 CD からリッピングし、MP3 フォルダへ保存しながら、同時に本製品にも転送します。
	終了	HyperHyde CD Ripper を終了します。
編集	すべて選択	すべての曲を選択（Track のチェックボックスが ON）状態にします。
	すべて解除	すべての曲を選択しない（Track のチェックボックスが OFF）状態にします。
表示	演奏順	音楽 CD の格納順に表示します（初期値）。
	名前順	曲名順に表示します。
	サイズ順	曲の演奏時間が短いものから順に表示します。
	最新の情報に更新	音楽 CD の内容を再表示します。

メニュー	コマンド	詳細
ツール	CD 情報編集	CD 情報を設定するダイアログを表示します。ダイアログについては 79 ページ「CD 情報編集ダイアログ」参照
	設定	アプリケーションの設定ダイアログを表示します。ダイアログについては 78 ページ「アプリケーションの設定ダイアログ」参照
ウィンドウ	MP3 作成フォルダ	MP3 フォルダの内容を表示します。
	転送アプリケーション	HyperHyde Manager for Exrouge を起動します。
ヘルプ	バージョン情報	本ソフトウェアのバージョンを表示します。

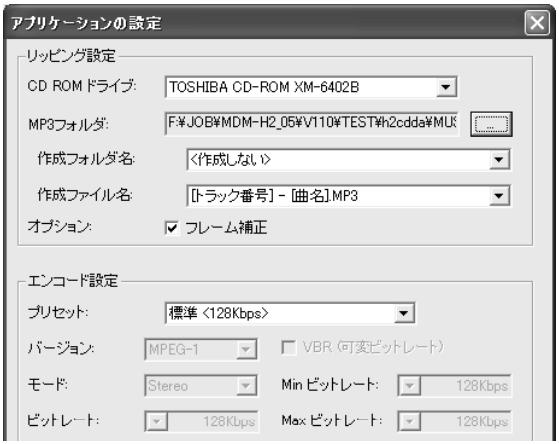
ツールバーの機能

同機能がメニューバーに存在しないアイコンを説明します。

アイコン	詳細
	音楽 CD をイジェクトします。
	選択した（反転表示した）曲を再生します。
	再生中の曲を停止します。
	再生中の曲を一時停止します。再度クリックすると再生開始。

アプリケーションの設定ダイアログ

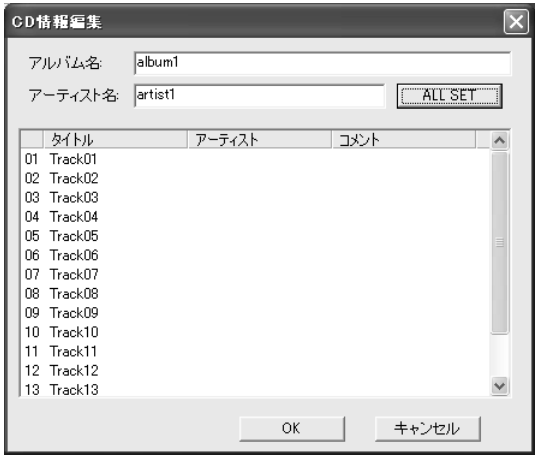
[ツール]－[設定]を選ぶか、 アイコンをクリックしたときに表示されるダイアログです。



設定	項目	詳細
リッピング設定	CD-ROM ドライブ	複数の CD-ROM ドライブが存在する場合は、音楽 CD を挿入するドライブを選択してください。
	MP3 フォルダ	リッピング後の MP3 データを保存するフォルダを指定します。右横の … をクリックするとフォルダ選択できます。 標準では CD Ripper をインストールしたフォルダの下の MUSIC というフォルダに格納されます。
	作成フォルダ名	音楽フォルダの下にさらにアーティスト別などのフォルダを作成して格納したいときに指定します。
	作成ファイル名	リッピングした MP3 データのファイル名の付けかたを選択できます。
	フレーム補正	音楽データの読み込みのズレを修正する機能です。リッピングに失敗する場合に本設定を OFF にすることで改善されることがあります。
エンコード設定	プリセットなど	エンコードしたい設定を選択できます。 <カスタム>を選択すると細かいエンコード設定ができますが、通常は[標準][サイズ重視][音質重視]のいずれかのご使用をおすすめします。

CD 情報編集ダイアログ

[ツール]－[CD 情報編集]を選んだときに表示されるダイアログです。すべての項目は日本語で入力できます。



項目	詳細
アルバム名	アルバム名を入力します。
アーティスト名	アーティスト名を入力します。
[ALL SET]ボタン	すべての曲情報に入力したアーティスト名を設定します。
タイトル、 アーティスト コメント	タイトル、アーティスト、コメントを入力します。 [ALL SET]ボタンで設定されたアーティストも変更できます。

HyperHyde Manager の機能

ここでは、本製品添付の「HyperHyde Manager for Exrouge」の機能を簡単に説明します。「HyperHyde Manager for Exrouge」は MP3 データを本製品に転送したり、本製品の各種設定やカスタマイズを行うソフトウェアです。

Windows 版と Macintosh 版の違い

■Windows 版■

●[Standard Mode]と[Expert Mode]の２つのモードがあります。

Standard Mode	初期値のモードで、音楽データを取り扱うときのモードです。表示するのは音楽データのみです。	
Expert Mode	Music View	[Standard Mode]と同じです。
	Sound View	起動音や終了音などを自由に変更できます。
	File View	MP3 データ以外のファイルをカードに保存するときに使います。実際にカードに保存されているデータがすべて表示されますので、既存のデータやフォルダを変更・削除したりすると、音楽が再生できなくなる場合もありますので注意してください。

●プレイリストに対応しています。

■Macintosh 版■

モードは１つで、２つの View があります。

Music View	初期値のモードで、音楽データを取り扱うときのモードです。表示するのは音楽データのみです。
Sound View	起動音や終了音などを自由に変更できます。 Windows 版にある[File View]は Macintosh 版にはありません。

※Windows 版にある[File View]は Macintosh 版にはありません。

メニューバーの機能

メニューバー機能について説明します。

●表のマークなどの説明

コマンド欄：アイコンはツールバーにある同機能のアイコン

OS 欄：このコマンドが使用できる OS とモード

Win-S：Windows 版の[Standard Mode]

Win-E：Windows 版の[Expert Mode]

Mac：Macintosh 版

全て：Win-S、Win-E、Mac のいずれも使用できます。

詳細欄：マークの意味は次の通りです。

:[Standard Mode]または[Music View]

:[Sound View]

:[File View]（Windows の場合のみ有効）

メニュー	コマンド	OS	詳細
ファイル	プレイリストの作成	Win-S Win-E	のみ有効 メディア（メモリーカード）にプレイリストを（空のもの）を作成します。
	フォルダの作成	Win-E	のみ有効。 カードに新しいフォルダを作成します。
	削除	全て	選択したファイルを削除します。 の場合、ご自分でダウンロードしたファイルだけを対象にしてください。音楽が正しく再生できなくなる場合があります。
	名前の変更	Win-S Win-E	選択したデータのファイル名（曲タイトル）を変更します。 の場合、ご自分でダウンロードしたファイルだけを対象にしてください。音楽が正しく再生できなくなる場合があります。
	プロパティ（情報）	全て	のみ有効。 選択した MP3 データの曲名やアーティスト名、演奏時間などを表示します。

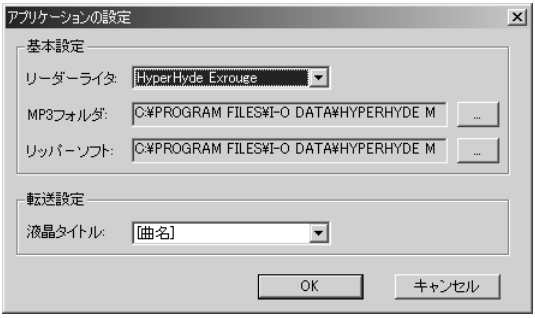
メニュー	コマンド	OS	詳細
ファイル	ダウンロード	Win-S Win-E	パソコンにあるデータを本製品に転送します。初期値で表示されるのは、MP3 作成フォルダです。 、 で使用する場合は MP3 データを選択してください。
	アップロード	Win-E	のみ有効。 カードに保存されているファイルやフォルダをパソコンへアップロードします。
	終了	全て	HyperHyde Manager を終了します。
編集	上へ移動	全て	のみ有効。 選択した MP3 データの曲順を１つ上(先)にします。
	下へ移動	全て	のみ有効。 選択した MP3 データの曲順を１つ下(後)にします。
	プレイリストへ移動	Win-S Win-E	のみ有効。 選択した MP3 データをプレイリストへ移動します。
	すべて選択	全て	表示されているデータをすべて選択状態（反転）にします。
表示	Music View	Win-E Mac	音楽データだけを表示します（[Standard Mode]と同じ)。音楽データを取り扱うときはこのモードで行います。
	Sound View	Win-E Mac	本製品の操作音（MP3 データ）を表示します。 詳しくは 86 ページ「Sound View の使い方」を参照してください。
	File View	Win-E	カードに保存されているファイルをそのまま表示します。 カードに MP3 データ以外のファイルを保存する場合に使用します。
	整列しない	Win-E	ファイルを格納順で表示します。
	名前順	Win-E	ファイル名順で表示します。
	拡張子順	Win-E	拡張子順で表示します。
	サイズ順	Win-E	ファイルのサイズ順で表示します。
	日付順	Win-E	ファイルの格納日順で表示します。

メニュー	コマンド	OS	詳細
表示	前に戻る	Win-S Win-E	の場合。 プレイリストからメインのルートに戻ります。 の場合。 １つ上のフォルダに戻ります。
	次に進む	Win-S Win-E	の場合。 前に表示していたプレイリストを表示します。 の場合。 前に表示していたフォルダを表示します。
	最新の情報に更新	全て	カードの内容を再表示します。
ツール	Standard Mode	Win-S Win-E	[Standard Mode]にします。選択したモードはタイトルバーに表示されます。
	Expert Mode	Win-S Win-E	[Expert Mode]にします。選択したモードはタイトルバーに表示されます。
	メディアのフォーマット	全て	メディアをフォーマットします。カードにあるデータはすべて削除されます。 メディアのフォーマット画面で設定できる項目は以下のとおりです。 [再接続]ボタン：<Not Available>と表示されたり、容量が正しく表示されない場合にクリックしてください。 [クイックフォーマット]チェック：フルフォーマットとクイックフォーマットを切り替えます。通常はチェックした状態（クイックフォーマット）でお使いください。
	メディアのプロパティ	全て	メディアのボリュームラベルを設定します。
	設定	Win-S Win-E	アプリケーションの設定ダイアログを表示します。詳細は 85 ページ「アプリケーションの設定ダイアログ」参照
	HyperHyde カスタマイズ	Mac	本製品のカスタマイズを行います。 65 ページ「カスタマイズしよう」参照

メニュー	コマンド	OS	詳細
ウィンドウ	MP3 保存フォルダ	Win-S Win-E	パソコンにある MP3 作成フォルダの内容を表示します。
	CD リッパー	Win-S Win-E	HyperHyde CD Ripper for Exrouge を起動します。
	HyperHyde カスタマイズ	Win-S Win-E	本製品のカスタマイズを行います。 65 ページ「カスタマイズしよう」参照
ヘルプ	バージョン情報	Win-S Win-E	バージョンを表示します。

アプリケーションの設定ダイアログ

[ツール]ー[設定]を選ぶと表示されるダイアログです。



項目	詳細
リーダーライタ	Windows 版のみ表示されます。 音楽データの書き込みを行う機器（ドライブ名）の設定を行います。初期値は「HyperHyde Exrouge」です。 対応製品が接続されていないときは、「HyperHyde Exrouge」以外に設定できません。 ※USB-SDRW 以外のリーダーライタの場合は、その製品のドライブ名を設定してください。
MP3 フォルダ	Windows 版のみ表示されます。 パソコン側で MP3 データを保存しておくフォルダを指定します。初期値は HyperHyde Manager をインストールしたフォルダの直下にある MUSIC フォルダです。 [...] ボタンをクリックするとフォルダ選択できます。ここで指定したフォルダは アイコンをクリックするとすぐに表示されます。
リッパーソフト	Windows 版のみ表示されます。 アイコンをクリックしたときに起動するリッパーソフトを指定します。初期値は HyperHyde CD Ripper です。 [...] ボタンをクリックするとプログラム選択できます。
液晶タイトル	MP3 データを転送するときにタイトルとして表示する曲情報を設定します。初期値は[曲名]です。 録音済みのメディアが入った状態でこの設定を変更すると、メディア内のすべての曲情報のタイトルが変更できます。

[Sound View]の使い方

[Sound View]は、起動音などをご自分のお好みで変更するための View です。

■Sound View を使うには

Windows の場合は、[ツール]－[Expert Mode]を選び、アイコンをクリックしてください。
Macintosh の場合は、アイコンをクリックしてください。

■変更できるサウンド

変更できるサウンドは以下のとおりです。
サウンドを変更したいときは、下記表をご確認の上、ご自分で MP3 データをご用意になり、同じファイル名で上書きしてください。

注意！

サウンドはモノラルの MP3 データを使用することをおすすめします。
ステレオの MP3 データをサウンドに使用すると、「モノラル出力 ON」に設定したときに正常に再生されない場合があります。

サウンド	ファイル名	目安となる長さ
電源投入時の音	POW_ON.MP3	3 秒くらい
電源切断時の音	POW_OFF.MP3	3 秒くらい
HOLD 設定時の音	HOLD.MP3	3 秒くらい
HOLD 解除時の音	HOLD_OFF.MP3	3 秒くらい
早送り開始の音 （早送り中は再生なし）	FF.MP3	1 秒くらい
早戻し開始の音 （早戻し中は再生なし）	RW.MP3	1 秒くらい

■サンプルサウンド

HyperHyde Manager をインストールしたフォルダにある MUSIC フォルダ（初期値設定のままならアイコンをクリックして表示されるフォルダ）のなかには、効果音のサンプルセットがいくつか格納されています。必要に応じてお使いください。

6 故障かなと思う前に

本製品を使用していてトラブルがあったときにご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポート Web ページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品 Q&A

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新 サポートソフト

トラブルQ&A<目次>

本製品使用時のトラブル

カードを入れたが、カバーが閉まらない・・・・・・・・・・・・・・・ 89
電源を入れても、液晶ディスプレイが表示されない・・・・・・・・・ 89
電源を入れると液晶ディスプレイは表示されるが、音楽が再生されない 90
どのボタンを押しても反応しない・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
液晶ディスプレイ表示や動作がおかしい・・・・・・・・・・・・・・・ 90
曲のタイトル、アーティスト名などが途中で切れる・・・・・・・・・ 90
音楽は再生しているのに、液晶ディスプレイ表示が消えている・・・ 91
特定の曲だけが再生できない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
音楽を再生すると、音飛びがする・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91

インストール時のトラブル（Windows 編）

本製品を接続しても「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されない（Windows XP/2000） ・・ 92
「新しいハードウェアの追加」画面が表示されたまま消えない（Windows Me/98） 92
インストール後の確認で、「I-O DATA MDM-H205」が表示されない・・ 92

インストール時のトラブル（Macintosh 編）

インストール後の確認で、「I-O DATA MDM-H205」や「MDM-H205 Driver」が表示されない ・ 93

HyperHyde Manager 使用時のトラブル

液晶ディスプレイに音楽データが表示されない・・・・・・・・・・ 94
「記録メディアを認識できません」と表示される・・・・・・・・・ 94
「HyperHyde が接続されていません」と表示される・・・・・・・・ 95
曲情報が正しく表示されない・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95

HyperHyde CD Ripper 使用時のトラブル

画面に音楽 CD の曲が表示されない ・・・・・・・・・・・・・・・ 96
「記録メディアを認識できません」と表示される・・・・・・・・・ 96

トラブルQ＆A

原因が複数ある場合は簡単なものから先に説明してあるので、上から順番に解決していってください。

本製品使用時のトラブル

カードを入れたが、カバーが閉まらない

原　　因	カードの裏表や向きが違う、または、奥まで挿入していない。
解決方法	カードの入れ方を確認してください。また、カードはカチッと音がするまで差し込んでください。 8 ページ「電池とカードを入れる」参照

電源を入れても、液晶ディスプレイが表示されない

原　　因	電池が正しく入っていないか，電池切れである。
解決方法	電池が正しく入っていることを確認してください。 一度電池を完全に抜いてから、電池を入れ直してください。 市販の新しいアルカリ電池に変えてみてください。 8 ページ「電池とカードを入れる」参照

原　　因	カードが入っていない。
解決方法	カードが正しく入っていることを確認してください。 一度カードを完全に抜いてから、入れ直してください。 8 ページ「電池とカードを入れる」参照

原　　因	電源 ON のボタンが違う。
解決方法	工場出荷時では、どのボタンを長押ししても電源が入りますが、パソコンからのカスタマイズによって、電源 ON のボタンを変えることができます。本製品をパソコンに接続し、設定を確認してみてください。 74 ページ「カスタマイズしよう」の「拡張設定」参照

原　　因	カードに何も録音されていない。
解決方法	MP3 形式の音楽データを録音してください。 「音楽を録音する」 Windows の場合：22 ページ参照 Macintosh の場合：49 ページ参照

電源を入れると液晶ディスプレイは表示されるが、音楽が再生されない

原　　因	音量が小さい。
解決方法	液晶の再生時間がカウントアップされている場合は、音量が小さすぎることが考えられます。音量を上げてください。 57 ページ「再生中のいろいろな操作」参照

原　　因	起動時の状態が[スタンバイ]になっている。
解決方法	工場出荷時は電源 ON とともに音楽を再生しますが、パソコンからのカスタマイズで[スタンバイ]を選ぶと、電源 ON 後、一時停止状態になります。[▶||]ボタンを押すと、再生を開始します。 74 ページ「カスタマイズしよう」の「拡張設定」参照

どのボタンを押しても反応しない

原　　因	ホールド状態になっている。
解決方法	液晶に🔒と表示されている場合は、ホールド状態になっており、ボタン操作を受け付けません。ジョグスイッチを長押しすると、🔓と表示され、ホールド状態が解除されます。 57 ページ「再生中のいろいろな操作」参照

液晶ディスプレイ表示や動作がおかしい

原　　因	ー
解決方法	電源を切った後、一度電池を完全に抜いてから、電池を入れ直してください。 8 ページ「電池とカードを入れる」参照

曲のタイトル、アーティスト名などが途中で切れる

原　　因	曲のタイトル、アーティスト名などの液晶に表示される曲情報の長さが長い場合は、自動的にカットされます。カットされる目安は全角文字で 23 文字程度が目安となります。
解決方法	曲情報の長さは上記の長さ以下にするようにしてください。

音楽は再生しているのに、液晶ディスプレイ表示が消えている

原　　因	オートスクリーンオフが ON の状態になっている。
解決方法	ジョグスイッチを押してください。オートスクリーンオフとは省電力のために一定時間操作がないと液晶表示を消す機能です。工場出荷時は「オートスクリーンオフ機能は使わない（OFF）」になっていますが、メニュー設定で「使用する（ON）」に変更できます。液晶表示が消えているときはジョグスイッチを押すと表示します。

特定の曲だけが再生できない

原　　因	録音が正しく行われていない、または、カード自体が異常である。
解決方法	カードをフォーマットし、再度、録音してみてください。フォーマットするときは[クイックフォーマット]のチェックを外してください。MP3 データを本製品に録音する場合は「HyperHyde Manager」をご利用ください。カードアダプタを使ってコピーした音楽データは動作保証外になります。 「メディアのフォーマット」 Windows の場合：37 ページ参照、Macintosh の場合：53 ページ参照

音楽を再生すると、音飛びがする

原　　因	音楽録音時に使用している CD-ROM ドライブが、オーディオキャプチャに対応していない。
解決方法	オーディオキャプチャに対応した CD-ROM ドライブを使用してください。

原　　因	ビットレートが高い。
解決方法	音楽データによってはビットレートが高いと音飛びする場合があります。ビットレートの低い MP3 データでお試しください。

原　　因	ー
解決方法	カードをフォーマットし、再度、録音してください。フォーマットするときは[クイックフォーマット]のチェックを外してください。 それでもだめな場合は、新しいカードに取り替えてください。 「メディアのフォーマット」 Windows の場合：37 ページ参照、Macintosh の場合：53 ページ参照

インストール時のトラブル（Windows 編）

本製品を接続しても「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されない （Windows XP/2000）

原　因	パソコンと本製品が正しく接続されていない。
解決方法	● パソコンの USB ポートに最後まで差し込まれているか、本製品側の USB コネクタが最後まで差し込まれているかどうかを確認してください。 ● USB ケーブルを差し込み直してください。 ● 別の USB ポートに差し込んでみてください。USB ハブの場合は、パソコン本体の USB ポートに差し込んでみてください。

「新しいハードウェアの追加」画面が表示されたまま消えない （Windows Me/98）

原　因	サポートソフトがインストールされていない。
解決方法	サポートソフトは本製品を接続する前にインストールします。 サポートソフトがインストールされていない状態で本製品を接続すると「新しいハードウェアの追加」画面が表示されます。 [キャンセル]ボタンをクリックして画面を閉じた後、本製品を取り外してから、サポートソフトのインストールを行ってください。 9 ページ「サポートソフトをインストールする」参照

インストール後の確認で、「I-O DATA MDM-H205」が表示されない

原　因	パソコンと本製品が正しく接続されていない。
解決方法	● パソコンの USB ポートに最後まで差し込まれているか、本製品側の USB コネクタが最後まで差し込まれているかどうかを確認してください。 ● USB ケーブルを差し込み直してください。 ● 別の USB ポートに差し込んでみてください。USB ハブの場合は、パソコン本体の USB ポートに差し込んでみてください。

原　因	正しくインストールされていない。
解決方法	サポートソフトを削除してから、再度、インストールを行ってください。 40 ページ「インストールした情報を削除するには」参照 9 ページ「サポートソフトをインストールする」参照

原　　因	「その他のデバイス」や「不明なデバイス」として誤認識されている。
解決方法	サポートソフトをインストールする前に本製品を接続して、新しいハードウェアの追加画面からインストールしてしまった場合など、「その他のデバイス」や「不明のデバイス」として認識されることがあります。次のことをお試しください。 1. 「インストール後の確認」を参照して、デバイスマネージャを表示します。 2. [その他のデバイス]をダブルクリックします。 3. [I-O DATA MDM-H205]が表示されていた場合は[I-O DATA MDM-H205]をクリックして、[削除]ボタン（Windows XP/2000 の場合は右クリックして[削除]を選択）をクリックして、サポートソフトを削除します。 4. 本製品を取り外して、Windows を再起動します。 5. サポートソフトのインストールを行います。 「インストール後の確認」 Windows XP/2000 の場合：19 ページ参照 Windows Me/98 の場合：21 ページ参照

インストール時のトラブル（Macintosh 編）

インストール後の確認で、「I-O DATA MDM-H205」や「MDM-H205 Driver」が表示されない

原　　因	パソコンと本製品が正しく接続されていない。
解決方法	● パソコンの USB ポートに最後まで差し込まれているか、本製品側の USB コネクタが最後まで差し込まれているかどうかを確認してください。 ● いったん、本製品をパソコンから取り外して、再度、接続してみてください。 ● 別の USB ポートに差し込んでみてください。 ● USB ハブのポートに差し込んだ場合は、パソコン本体の USB ポートに差し込んでみてください。

原　　因	正しくインストールされていない。
解決方法	インストールした情報を削除してから、再度インストールを行ってください。 54 ページ「インストールした情報を削除するには」参照 45 ページ「サポートソフトをインストールする」参照

HyperHyde Manager 使用時のトラブル

液晶ディスプレイに音楽データが表示されない

原　因	カードが入っていない。
解決方法	カードが正しく入っていることを確認してください。 一度カードを完全に抜いてから、入れ直してください。 カードを入れた後、[表示]メニューの[最新の情報に更新]を実行してください。 8 ページ「電池とカードを入れる」参照

原　因	カードに何も録音されていない。
解決方法	画面下にカードの空き容量や種類が表示されているときは、カード自体は正しく認識されていますが、MP3 データが録音されていない状態です。MP3 形式の音楽データを録音してください。 「音楽を録音する」 Windows の場合：22 ページ参照 Macintosh の場合：49 ページ参照

原　因	パソコンと本製品が正しく接続されていない。
解決方法	インストール後の確認を行ってみてください。 「インストール後の確認」 Windows XP/2000 の場合：19 ページ参照 Windows Me/98 の場合：21 ページ参照 Macintosh の場合：47 ページ参照

「記録メディアを認識できません」と表示される

原　因	カードが入っていない。
解決方法	カードが正しく入っていることを確認してください。 一度カードを完全に抜いてから、入れ直してください。 8 ページ「電池とカードを入れる」参照

原　因	パソコンと本製品が正しく接続されていない。
解決方法	インストール後の確認を行ってみてください。 「インストール後の確認」 Windows XP/2000 の場合：19 ページ参照 Windows Me/98 の場合：21 ページ参照 Macintosh の場合：47 ページ参照

原　　因	カードが異常である。
解決方法	メディアをフォーマットしてみてください。フォーマットするときは[クイックフォーマット]のチェックを外してください。 それでもだめな場合は新しいカードと取り替えてください。 「メディアのフォーマット」 Windows の場合：37 ページ参照 Macintosh の場合：53 ページ参照

「HyperHyde が接続されていません」と表示される

原　　因	カードが入っていない、または、何も録音されていない。
解決方法	録音済みのカードが正しく入っていることを確認してください。 一度カードを完全に抜いてから、入れ直してください。 8 ページ「電池とカードを入れる」参照

原　　因	パソコンと本製品が正しく接続されていない。
解決方法	インストール後の確認を行ってみてください。 「インストール後の確認」 Windows XP/2000 の場合：19 ページ参照 Windows Me/98 の場合：21 ページ参照 Macintosh の場合：47 ページ参照

曲情報が正しく表示されない

原　　因	MP3 データ作成時の曲情報の ID3TAG が対応していないバージョンになっている。
解決方法	HyperHyde Manager で表示する曲情報は ID3 tag Ver.1 と Ver2.2(UNICODE)に対応しています。(ver2.2 の SJIS は未対応です。) MP3 データ作成時に ID3TAG がこれ以外のバージョンで曲情報を保存している場合は、設定していたはずの曲情報が表示されなかったり、文字化けしたりする場合があります。 MP3 データを作成するときに使用したリッピングソフトの設定を確認し、曲情報の保存形式を対応するバージョンに設定してから MP3 データを作成し直してください。

HyperHyde CD Ripper 使用時のトラブル

画面に音楽 CD の曲が表示されない

原　因	CD-ROM ドライブが正しく選択されていない。
解決方法	「HyperHyde CD Ripper」の[ツール]→[設定]でアプリケーションの設定を起動します。リッピング設定でお使いの CD-ROM を選択してください。 78 ページ「アプリケーションの設定ダイアログ」参照

原　因	音楽 CD ではない CD-ROM ディスクを入れた。
解決方法	CD-ROM ディスクを確認してください。データ用の CD-ROM などをセットすると、Track01 のみが表示された状態になります。 音楽 CD を入れた後、[表示]メニューの[最新の情報に更新]を実行してください。 複数の CD-ROM ドライブが存在する場合は、別の CD-ROM ドライブにセットしてみてください。 また、音楽 CD のタイトルなどは表示されません。曲名はすべて「Track+連番」の形で表示されます。音楽を確認したいときは、確認したい曲を選んで、ツールバーの再生アイコンをクリックしてください。 76 ページ「HyperHyde CD Ripper の機能」参照

原　因	USB や IEEE 1394 接続などのドライブを使用している。
解決方法	「HyperHyde CD Ripper」は IDE および SCSI 接続のドライブのみ対応しています。

「記録メディアを認識できません」と表示される

原　因	カードが入っていない。
解決方法	カードが正しく入っていることを確認してください。 一度カードを完全に抜いてから、入れ直してください。 8 ページ「電池とカードを入れる」参照

原　因	パソコンと本製品が正しく接続されていない。
解決方法	インストール後の確認を行ってみてください。 「インストール後の確認」 Windows XP/2000 の場合：19 ページ参照 Windows Me/98 の場合：21 ページ参照

7 付 録

ハードウェア仕様

■基本仕様■

型式番号	HyperHyde Exrouge (MDM-H205/MDM-H205R/MDM-H205W/MDM-H205SR/MDM-H205SW)
対応メディア[注 1]	マルチメディアカード：16～128M バイト SD メモリーカード：16～512M バイト
デコードフォーマット	MP3 （ビットレート 32Kbps～224Kbps）[注 2] （サンプリングレート 16kHz～44.1kHz）
S/N 比	85db 以上
周波数特性	20Hz～20,000Hz
電源	単４形×１ （アルカリ乾電池）
外形寸法	61.0(W)×47.0(H)×19.0(D)mm（突起部除く）
質量	本体：34g（メディア、乾電池除く）
出力端子	フォンアウト×１（φ3.5mm） ステレオミニジャック
ヘッドホン出力	5mW＋5mW
連続再生時間	約 20 時間（省電力設定時。使用状況により異なります）
端末インターフェイス	USB Spec 1.1 準拠 電源電圧：バスパワー/5.0V
消費電力	約 120mW （typ） （LCD:ON、バックライト:OFF）
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%

[注 1]当社 PCSD シリーズ、PCMMC シリーズおよび MMC2 シリーズのみ対応です。

[注 2]ご使用の環境（音楽データやメディアなど）によっては音楽データのビットレートが高いと音飛びすることがあります。その場合は音楽データのビットレートを下げてください。

■液晶表示部の仕様■

液晶	FSTN 半透過型液晶
表示ドット数	32×100 ドット
表示エリア	38.5×11.0[mm]

用語解説

CD-DA(シーディーディーエー)(*Compact Disc Digital Audio*)

音楽 CD。音楽 CD は、サンプリング周波数 44.1kHz、量子化 16 ビットの PCM 方式でデジタル録音するため、アナログレコードと違って何度聞いても音質が劣化しない。12cm の CD には 74 分の音声を収録できる。

CD Extra(シーディーエクストラ)(*Compact Disc Extra*)

オーディオデータと CD-ROM データの両方を 1 枚のディスクに格納したもの。最初のセッションにオーディオデータを書き込み、2 つ目以降のセッションに CD-ROM としてのデータを書き込むことによって、オーディオ CD プレーヤーから CD-ROM 用データトラックが誤って読み出されないようにしている。

CD-R(シーディーアール)(*Compact Disc Recordable*)

任意のデータを一度だけ書き込めるCD。いったん書き込んだデータは消去できない。容量は通常の CD と同じ 650MB（音楽 74 分相当）のもの以外にも、550MB（音楽 63 分相当）や 700MB（音楽 80 分相当）などがある。記録面に金色や青緑色の有機色素が塗布されており、これにレーザー光を照射して色素を焦がし、データを記録する。CD と互換性があり、パソコンを使って音楽を記録した CD-R をオーディオ CD プレーヤーで再生することもできる。

CD-RW(シーディーアールダブル)(*Compact Disc ReWritaable*)

任意のデータを何度でも書き込んだり消去したりできるCD。容量は CD と同じ 650MB。データの読み出しの原理は通常の CD と同じだが、反射率が低いため、オーディオ CD プレーヤーなどでは読み取ることができない。

C.S.S(シーエスエス)(*Custom Setting System*)

M. M. Tにより実現したHyperHyde Exrougeの各種設定を行うシステムの名称で「HyperHyde Manager for Exrouge」に搭載している。
パソコンとプレーヤーを接続する事で各種設定変更を実現する新しい設計思想のこのシステムは設定項目の量や質ともに世界初の実現と呼べる MP3 プレーヤーとして画期的なシステムである。

ID3TAG(アイディースリー タグ)

MP3 ファイルに記録されている、曲名やアーティスト名、アルバム名などのデータ。この情報を ID3TAG に対応したアプリケーションなどで表示・編集できる。Ver.1 と Ver.2 があるが、バージョンによって設定形式が異なるので、リッピング時のバージョンと携帯プレーヤーの対応バージョンが異なると曲情報が正しく表示されない場合がある。

M.M.T（エムエムティー）*(Masao Magic Technology)*

本製品で採用されている技術やアプリケーションによる自在なハードウェアセッティング、ファームウェアのチューニングなどの総称。
ソフトウェア技術者であるタカハシマサオ氏が新たな設計思想により実現しプロデュースした最新技術である。

MP3（エムピースリー）（*MPEG-1 Audio Layer 3*）

MPEG Audio 規格は音声情報圧縮技術の規格で、Layer 1 が 1/4、Layer 2 が 1/8、Layer 3 が 1/10 の圧縮率を得ることができる。音楽 CD 並の高音質を得ることができるため、小型再生装置（携帯プレーヤーなど）やインターネットでの配布に便利。

MPEG（エムペグ）*(Moving Picture Experts Group)*

マルチメディアの圧縮技術の標準化を行っている組織、または、その組織が作成した規格をさす。CD-ROM への応用を考えた転送速度 1.5Mbps の MPEG-1 と、AV 機器や放送への応用を考えた MPEG-2 などの規格がある。DVD やデジタル放送は MPEG-2 の規格を採用している。

SD メモリーカード（エスディメモリーカード）*(Secure Digital Memory Card)*

松下電器、東芝、アメリカの SanDisk 社が提唱している小型メモリーカード。MMC（マルチメディアカード）と上位互換が確保されたもので、セキュリティ機能を備えている。セキュリティ機能を使用しないときは、マルチメディアカードと同様に、データ記録媒体として扱うことができる。マルチメディアカードより少し厚く、書き込み防止のプロテクトタブがある。

USB（ユーエスビー） *(Universal Serial Bus)*

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つ。パソコンと周辺機器の接続性向上、増設のしやすさなどを主な目的として 1995 年に公開された。

- コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一される。
- デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できる。
- Hot Plug 対応でパソコン起動中でも抜き差しできる。
- USB ポートから電源供給が可能なので外部電源が要らない。
- 複数の IRQ を使用しないので機器間の競合が少なくなる。

などの特長を持つ。

エンコード／デコード

エンコードとは、データを一定の規則に従って符号化すること、あるいはそのソフトおよびハードを指す場合もある。エンコードされたデータを元に戻すことをデコードという。

オーディオキャプチャ

音楽 CD などの音声をファイルなどに取り込むこと。

サンプリングレート

サンプリングを行う間隔時間。単位は秒。1 秒間に行うサンプリングの回数（＝サンプリング周波数）をさす場合は Hz（ヘルツ）を単位とする。例えば、サンプリング周波数が 44.1kHz の場合は、1 秒間に 44100 回の数値化を行うことを示す。
サンプリングレートが大きいほど、精度は高くなるが、データ数は増大する。一般的な音楽 CD のサンプリングレートは 44.1kHz。

ビットレート

1 秒間に転送されるビット数（データ量）。音楽データの場合、ビットレートが高いと音質は良くなるが、ファイル容量が増えることになる。

マルチメディアカード *(MultiMediaCard)*

アメリカの SanDisk 社、Siemens 社が開発した切手サイズの超小型、超軽量の次世代デジタルメディア（記録媒体）。主にデジタルスチルカメラなどのマルチメディア機器の記録媒体として注目されている。リムーバブルなので大容量にも柔軟に対応ができる。国内外の約 50 社が賛同し、携帯電話などへの普及も目指している。

リッピング

音楽 CD（CD-DA）に記録されているデジタル形式の音声データを抽出し、パソコンで処理できるようなファイル形式（本製品では MP3 形式）に変換して保存すること。抽出・変換のためのツールを「リッパー」という。

アフターサービス

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポート Web ページ内の「製品 Q&A」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品 Q&A

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新 サポートソフト

② それでも解決しない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…076-260-3646　東京…03-3254-1036
※受付時間　9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、

①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。

②弊社サポートセンターへお問い合わせください。

（【お問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障であると判断される場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。

その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。

ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。

修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。

（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアル NO.（**本体の電池カバーを開けた中に透明シールで貼り付けてあります。**）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX 番号］, 日中にご連絡できるお電話番号,
ご使用環境（機器構成、OS など）, 故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町２丁目 84 番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各 1 部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に 1 台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- HyperHyde は、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,Mac は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

発 行　株式会社アイ・オー・データ機器　2002.07.24
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001-2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。